きっと、もっと、すてきな夢を咲かせます。

人間らしさをキーワードに、いま私たちの生活や社会には

本当の豊かさやゆとりが求められています。

日立は、どこまでも人にやさしい先端技術を通じて

そんな暮らしの夢をひとつひとつ花開かせ

豊かな実りをお届けします。

株式会社 日立製作所

巻頭言

男子世界ハンドボール選手権大会を終えて

日本ハンドボール協会常務理事
井　薫

男子世界ハンドボール選手権大会、多くの皆様にご観戦いただき、心よりお礼を申しあげたい。

6月2日の熊本日々新聞の社会面に『夢　ありがとう』～酔いしれた16日間と掲載されたが、決勝戦当日のドームは開場2時間前から長蛇の列、招致活動から大会の開催にむけ尽力した日本協会や、熊本の事務局や県協会の関係者、まさに『ドリームズ・カム・トゥルー』であった。

これは関係者にとどまらず、全国から熊本においでになった方々や、テレビをご覧いただいた方も同様に『夢実現』の印象を強くもたれたようだ。

実際、ドームに足を踏み入れて目の前に広がる、ハンドボールだけのためのコートと、世界のプレイの迫力は、鮮烈であり感動したとのコメントを数多くいただいた。

大会の盛り上がりの要因は、日本チームの健闘と、『スピードと格闘技』と評されたハンドボール競技の面白さにつきると思う。

決勝トーナメントでの対フランス戦の激戦をはじめ、オルソン監督の指導のもと頑張りぬいたメンバーに盛んな拍手がおきたし、世界のトッププレイヤーがタイトルを目指した真剣なプレイは、観客を魅了『一瞬たりとも飽きさせない』のメディアの表現は、現代のスポーツ観戦者のニーズに添うもので、ハンドボールの将来に明るい示唆を受けた。

また、日本協会所属の日本リーグ、大学、社会人、高校のトップチームによる、大会の観戦と交流ゲームの『フェスティバル』と、普及・指導部の『コーチ・レフェリーシンポジュウム』も盛況で、熊本サイドとしても嬉しい企画であった。

お陰で16日間の大会を無事終える事が出来たが、無事にとする項目も世界選手権大会だけに、まずはテロや亡命、交通事故や食中毒、そしてドーピングの結果等、さまざまで無事に終わったことを喜びたい。

現に、ほぼ同時期に韓国、釜山で開催された東アジアスポーツ大会でも、亡命騒ぎがあったし、昨夏のアトランタ五輪での爆発事件も記憶に新しく、つまり何が起きても不思議ではないのが国際イベント。

そんな中で唯一の痛恨事は、元IHF役員で元ルーマニア監督のクンスト氏、日本協会がこれまで大変お世話になり、今回招待したものだが、持病の発作で急逝された。

ご遺体に同行いただいた、兵庫在中の光島磯雄氏のご苦労に感謝したい。

協会だより

平成9年度 6月度常務理事会

日　時／平成9年6月14日(土)
　　　9時30分～12時00分
場　所／日体協　504号会議室
出席者／中沢専務理事、
　　　常務理事9名、
　　　参事1名、事務局1名

1、本田技研のユニフォーム広告について

世界選手権大会の日本チームのユニフォーム広告スポンサーとして本田技研に協賛をお願いし実施、協賛金を強化活動に当てる条件で契約した旨報告。

これらの収入について、資金の使途にスポンサーが承諾すれば活用を限定できる案と協会全般の資金として活用する案について規定を調べ調整。

今後について意見があり、財務と総務で調整。

2、経理処理について

経理処理について、確認と依頼

3、タラフレックスの対応について

日本財団の補助金で購入したタラフレックスについて、日本協会資産として10年間の保有義務があることから、保管先について大崎電気とオムロンとすることを報告。

他の事業で使用する場合は、その事業の主管者の費用ですべて負担することで了承した。

4、日本リーグ各社及び広告協賛各社に対する終了報告について

世界選手権大会の結果報告を早急に実施することとし、各社を訪問する担当を決めた。

訪問先は日本リーグ加盟チーム企業、ガイドブック広告協賛企業、マスコミ関係、JOC、日体協、他。

訪問に際し、大会結果、大会パンフレット等を持参することとした。

早急に記念品を作成することとした。

5、次期男子ナショナル監督選出について

強化委員会より世界選手権大会の実績分析及びオルソン監督の評価のまとめを報告。

次期監督について、オルソン氏を含み外国人監督、日本人監督の2案に絞り協議。

6、日本協会執行部について

世界選手権大会終了後の体制について、11月までに次のステップを考えるとの報告

7、その他

'97ジャパンカップを含め国内事業は総務が担当することで了承

■平成9・10年度全国評議員

（※6月14日に決定しました。）

県　名	氏　名	県　名	氏　名
北海道	松本　博	兵庫	岡田茂夫
青森	諏訪正徳	和歌山	田中秀和
岩手	箱崎敬吉	鳥取	松原紀機
宮城	高橋長偉	島根	中西　磊
秋田	高山重雄	岡山	永井忠和
山形	奥山重雄	広島	西元義昭
福島	後藤義信	山口	青木　操
茨城	大村　久	香川	槙井俊明
栃木	高橋隆夫	徳島	長尾輝夫
群馬	高橋　潔	愛媛	竹村久晴
埼玉	遠藤健次	高知	武田末男
千葉	稲生　茂	福岡	中西敬一
東京	滝口三郎	佐賀	甲斐忠義
神奈川	森川利昭	長崎	浅田五郎
山梨	菊島哲也	熊本	與縄義昭
長野	中沢正巳	大分	福田　稔
新潟	大矢三郎	宮崎	坂本　平
富山	城川俊久	鹿児島	堀之口貞男
石川	若山　博	沖縄	新垣　健
福井	越田義昭		
静岡	寺田嘉一	実連	植村　繁
愛知	伊藤和夫	学連	久保義雄
岐阜	森川俊章	教職員	加藤雅之
三重	鈴木義男	高体連	佐藤喜一
京都	小西博喜	中体連	遠藤善隆
滋賀	尾本和男		
大阪	東　嘉伸		
奈良	中川敏文		

97男子世界選手権大会　熊本を終えて

組織委員会委員・報道部長兼プレスセンター長　木野　実

男子世界選手権大会は多くの感動と夢を与え6月1日閉幕した。

世界24ケ国のプレーヤーがコートの上で熱い戦いと素晴らしいプレーを披露してくれ、存分にハンドボールの魅力、醍醐味を発揮してくれた。これらのプレーを引き出してくれたのはとりもなおさず各会場の多くの観衆のお陰であった。

いつも満員の観客席そして激しいほどの熱のこもった応援、特にヤングピープルの人達がコート上と一体となって繰り広げた応援・声援に選手一人一人がこれに応えてくれた為で、一戦一戦すべてに盛り上がった。

記者会見でも各チーム監督がこの声援に感謝し、「他国で戦いながら自分のチームを応援してくれるなんて、まさしくホームでプレーしているのと同様だ」と異口同音に言っていた。

日本チームが第1戦から欧州勢と互角に戦い、初勝利を挙げたサウジアラビア戦以降は日本チームに対する期待は高まった。そして決勝トーナメントの進出を辛くも決めた後のベスト8進出を賭けた対フランス戦は5点リードし、日本の勝ちパターンが一瞬にして逆転を許し惜しくも夢は逃げたが、この戦いにより大会は観衆はじめメディアを通して多くの人に知らしめることになり、大会の盛り上げに一段と弾みがついた。

第1試合途中今から来られても入場出来ませんという情報を地元ラジオ、テレビ局のご好意により流したが、逆に火をつけたかっこうにもなった。

メディアに関してNHKではBSで生放送または録画で毎日全国に中継され、ニュースでもNHK、民放で大々的に取り上げていただき有り難かった。

大会の運営はまず選手が全力でプレー出来る環境づくりを考える、次に観衆が喜んでいただくこと、最後に運営がうまくいくこと（運営がうまくいって当たり前）を大切にすること。

そして報道の使命は、①報道と記録の正確性、②報道と記録のスピード、ということを早川、小山、西田氏から教わった。

報道の正確性についてはいつも確認という仕事が入り、IHFの規則、大会の規則、メディア規則を照らしあわしながらおこなった。また、ハンドボールの歴史、日本ハンドボール界のこと、日本チーム、過去の記録、ナショナル個人、選手のプロフィールの紹介等問い合わせも多く、その度に調査とIHFはじめ関係者に確認したりで時間がかかった。常々もっと情報の整理をしなければという意識があったが、十分ではなかったと反省している。

プレスセンターでは4会場の記録を集め素早く各関係方面に送信しなければならなかったが、センター、熊本市、八代市、山鹿市、それぞれの報道責任者、担当者はじめ支援職員、多くのボランティアの献身的なご尽力とご努力で大変スムーズに運ばれた。

大会前プレスセンターに責任者が一同に会し、AIPSのグンター氏を交え打ち合わせを行なったこともお互いの共通理解を得るのに大変有意義だった。

最初はうまく運ばなかったことも、時間が経つに従って全員が自主的に取り組み、他部門ともうまく連携を図り所期の目的を果たせた。

大会には国内、海外から多くのメディアの人がお見えになられたが、やはり欧州のメディアが多く、欧州の人気スポーツという印象を更に強くした。これらの人達へ通訳の方々はじめボランティアの方が存分にホスピタリティを発揮していただいたお陰でたいしたトラブルもなくメディアの方から素晴らしいというお褒めの言葉をいただいた。

各プレスセンターは試合前、試合後3時間オープンしていなければならず、スタッフの苦労は大変なものであった。しばしば戸締まりが深夜1時頃になることがあった。また、特に時差の関係がある海外の記者は遅くまで仕事をされ、当たり前とはいえ、大変な仕事だということがよく解った。

報道の仕事は正確とスピードと判断力が要求されるだけに、毎日毎日が緊張と不安の連続であったが、リエゾンの小山氏、早川氏、グンター氏、NHKの笠井、西田、福田氏のご指導とOCの岡村課長はじめ報道スタッフ、献身的に奮闘されたボランティア、通訳の皆様そして各セレクションの方々など多くの素晴らしい方々のご協力とご支援があったからこそ最後まで仕事をさせていただき心より感謝申し上げます。

また渡邊実行委員長、中澤専務理事、西事務局長、与縄県協会長、前田総局長、吉田局長の真剣で必死な姿と行動力におおいに勇気づけられましたことを深く感謝申し上げます。

熊本大会を観戦して

大阪協会

家永　昌樹

私自身大学４回生の時にチェコスロバキアでの、世界選手権を見ることが出来、この世界のハンドボールをこのスーパープレイ、大観衆を見たい。しかし無理だろうと心のなかで思っていました。それが現実のものになったのです。熊本が立候補のニュースを聞いただけでも心がわくわくし、ＩＨＦの総会で正式に１９９７年が熊本に決定した時、嬉しく大喜びしました。本番に近付くにつれテレビ、ビデオ等でヨーロッパの試合を見る機会が多くなり、やはり本場は凄い、プレイよりもそれを見ている大観衆の熱気が、これが熊本でもあるだろうか。５月17日パークドームに着くと、今までにハンドボールの会場では見たこともない人の多さに驚かされました。これも日本協会、熊本の準備委員会の方々の努力だと思います。もしかしたら、日本中のハンドボールファンは素晴らしい試合を待ち望んでいたのではないでしょうか。連日テレビで放映されるゲーム、ニュース等でも取り上げられ、やはりハンドボールは楽しい、本場のハンドボールは違うと改めて思い会場に足を運んだ人も多かったと思います。世界選手権が開催されたのも初めてなら、見るのも初めての人が多かったと思います。初日の日本対アイスランド戦ではどの様に応援したらよいのか会場の方々共私自身もそうでした。必死に応援のリードを取ってくれたサポーター達もいま一歩乗れなかったのではないでしょうか。しかし日が経つにつれ会場がまとまり大応援団となり１万人の大ウエーブまで起こりました。会場に居てとても嬉しくなると同時にとても楽しい思いをすることが出来ました。当然ながらこの様なムードになれたのも全日本チームの素晴らしい戦いがあったからだと思います。また日本以外のゲームでも各人がおもいおもいのチーム、プレイヤーをみつけ声援を送っていました。もしかすると、サッカーやバレーボールの様に会場で騒ぎたいという思いをずっと持っていてそれを出すことがやっとできたのではないでしょうか。中にはある意味でこの様なムードに飢えていたのではなかったのではないでしょうか。今までの国内のゲームでは素晴らしいシュートやキーピングに時よりワーと観衆が沸くだけでしたが、今回は60分間止むことがなかった。本場ヨーロッパに負けない大会でした。日本での世界選手権は終わりましたが、日本のハンドボール界はこれからではないでしょうか。マスコミにも数多く取り上げられ、いままでハンドボールを見たことがなかった人々も見ることができ、ハンドボールは面白いとアピールできたことと思います。世界選手権を期にハンドボールをメジャーにと思っておられる方も多いと思います。そのスタートはきれたのではないでしょうか。何よりも20万人もの人々が会場に足を運んだのですから。世界最高のプレイ、レフェリング、観衆今までのどの大会にも負けない最高の大会だったと思います。この大会を準備された日本協会、熊本準備委員会の方々また影から大会を支えておられたボランティアの方々には頭が下がりました。

男子世界選手権・

神奈川県立百合丘高等学校

南木　雅弘

「子供が、学校観戦で初めてハンドボールを見ましてね、面白いって言うんで、私も家内と見に来たんです。見応えありますね、あの迫力。そうしたら、病み付きになってしまって、今日で4回目ですよ」熊本の世界選手権大会（WM：Welt Meisterschaft）会場に行って驚くことは、この方のように口コミで観戦し、リピーターとなっている観客が非常に多いことであった。おかげで、どの会場もほぼ満席状態である。特に決勝トーナメント戦では立ち見もざらであった。

「テレビで見たが、今回のWMはかなり盛り上がっているようだね。それに、ここ3回のWMの中では、一番内容が良いのではないか」という、スイスの友人のメールが、この混雑の原因を語っているのではないか。

しかし何と言っても、私が今回のWMで感じたことは、選手と観客の「一体感」であった。本場欧州での各種大会をご覧になった方ならお分かりかと思うが、観客はハンドボールをよく知っていて、選手と共にゲームを楽しんでいる。チームへの熱狂的な応援はもとより、良いプレーにはチームを超えての拍手喝采、また、見苦しいプレーには手厳しいブーイング。このような環境の中で、選手は最高のプレーで勝とうとエキサイトする。そして、これに観客も酔いしれ、興奮する。このような、本場でしか味わえないと思っていた「一体感」を熊本でも味わえたことが、私にとっては感動であった。言葉は通じなくともまさに「ボールも一つ、地球も一つ」である。

では、この「一体感」のもとになっているのは何だろうか。私は「真剣さ」ではないかと考える。選手のプレーの真剣さ、審判の真剣さ、そして、応援の真剣さ。これらが合わさって、素人の人をも感動の渦に巻き込む、一大ハンドボール旋風を巻き起こせたのではないだろうか。

今回のWMで、外国の記者やIHFの広報担当者等と話をしてみると、異口同音に「日本は強くなった。しかし、フランス戦には勝てたね」と言われる。オレ・オルソン前監督に対する評価も高い。日本は注目され始めていると感じた。

もしかすると、ハンドバル・トレーニング（ドイツ発行・ドイツ語）に、日本の戦術分析や活躍の原因が掲載されるかも知れない。

最後に、私の反省を一言。今回のWMでは、日本国内での開催でもあり、比較的に楽に観戦に行け、更には世界のハンドボール関係者と草の根で交流できるチャンスがあったにもかかわらず、十分に果たせなかった。ホテルのロビーで、会場で、街中で、その他あらゆる所で、もっと彼らからいろいろな情報を得ることができたような気がしてならず、今となってはとても後悔している。

草の根交流が不十分だった原因は語学力にあると思うので、私は、ハンドボールの第1言語であるドイツ語をしっかり学習し、今回のWMを機に、もっと世界の中に入っていき、いろいろなことを学びたいと思う。

ワールド・ドリームゲーム東京大会

Hand Ball Gala in TOKYO あの感動を再び東京で!!

日本ハンドボール協会常務理事　山下　泉

5月17日から16日間にわたって死闘を繰り広げた、'97男子世界ハンドボール選手権大会・熊本は、全国のハンドボールファン、茶の間の俄かファンに夢と感動を与えてくれた「超人たち」、ロシアの優勝で全日程を無事終了した。世界選手権史上でも最も盛況であり、観客動員、運営ともIHFの役員、選手団、マスコミの人たちにパーフェクトと言わしめた大会であった。

冨本選手のジャンピングプレー

その興奮の醒め止まぬ6月2日、優勝ロシア、3位フランス、4位ハンガリーと全日本チーム、そして役員が東京への大移動。長期間の大会後であり、疲労の極致にもかかわらず、心よく東京大会の参加に協力してくれた各チームに感謝の気持ちを表したい。準優勝のスウェーデンは不参加を表明したため、5月30日まで大会開催が懸念されたが、たくさんのハードルを越えて実行することができた。

Hand Ball Gala in TOKYOと銘打ったこの大会、京王プラザホテルでの記者会見は多くの報道陣の質問で、予定時間をオーバーし、パーティの開宴が30分も遅れるほどであった。

試合は6月3日、駒沢体育館でほぼ満員の観客の中で開催された。

■第1試合

フランス　33対33　ハンガリー

内容的にはショー的要素が多く、やや物足りなさを感じたが、人気チームであるフランスの世界一ディフェンダーのリシャーソンや多様なシュートテクニックを持つストエックリンなど世界最高レベルのプレーを披露した。

■第2試合

ロシア　28対23　日　本

ほぼベストメンバーの王者ロシアに対し、岩本、冨本らの活躍で前半13対13で折り返す大健闘であった。会場は熊本大会に劣らない盛り上がりを見せたが、後半実力に勝るロシアは地力を発揮し、日本を退けた。ロシアを率いる名将マキシモフ監督、東京観光を返上しての練習や、広島での練習試合後のパーティでも絶対酒類を口にしない選手を見ていただけに、世界一の指揮官の厳しさは甘えと妥協を許さないものであった。ほとんどの選手がEUのプロリーグで活躍しているベテラン選手をよくこれほどまでコントロールしていると感心した。

リシャーソンの速攻からのシュート

世界ハンドボール選手権大会を締めくくる東京大会は、熊本大会成功の効果を受け、盛況で終えることができた。参加した役員、選手団は感謝と満足の言葉を残し帰国の途についた。ベスト4に勝ち残った超人たちは精神的にも、体力的にも驚くべきタフさを持ち、さらに、礼儀正しい愛すべきスポーツマンの集団であった。

最後にこの大会の運営をしていただいた、東京都協会、日本リーグ運営委員会の皆様にお礼を申し上げ、大会報告といたします。

冨本選手公式国際試合出場50回表彰

中澤専務理事よりカップを受け取る冨本選手

ナショナルチームのセンターとして活躍中の冨本選手（大同特種鋼）は、1997世界選手権大会の第5戦対リトアニア戦において公式国際試合出場50回を記録した。これを記念して、6月3日、駒沢体育館において行われたワールドドリームゲームのロシア戦の前に、日本ハンドボール協会よりカップが贈呈された。

冨本選手は、今回の世界選手権大会でも全6試合に出場した。日本ナショナルチームの若手の中でも群を抜く活躍をしており、今後シドニーに向けての活躍が期待されているところである。世界選手権の終了時点で公式国際試合出場を54試合とのばし、得点は世界選手権における17得点を含み148得点となっている。

その他の選手ではGKの橋本選手（本田技研）が群を抜いて172試合を記録している。得点では中山選手（湧永製薬）が402得点と群を抜いている。

その他の主な現役ナショナル選手の記録は以下の通りである。

■ワールドドリームゲーム終了時点

名前	所属	試合数	得点
橋本　行弘	本田技研	172	0
中山　剛	湧永製薬	110	402
末岡　政広	大同特殊鋼	84	272
藤井　孝志	大同特殊鋼	77	129
魚住　和彦	大崎電気	77	120
岩本　真典	三陽商会	65	142
冨本　栄次	大同特殊鋼	54	148

第11回女子ジュニア世界選手権大会選手団

アイボリーコースト（7月29日～8月10日）

役職	氏名	所属先
団長	佐野和夫	日本協会
監督	井上亮一	夙川学院高校
コーチ	志賀良弘	大和銀行
コーチ	平賀達也	暁高校
ドクター	阪田武志	産業医科大学整形外科
トレーナー	垰　真由美	濱脇病院
通訳	岩崎みどり	㈱エモック

選手	氏名	ふりがな	所属先名	生年月日	身長	体重	出身校
1	吉田由香	よしだ　ゆか	オムロン	1977.8.19	176	67	熊本国府高校
12	飛田季実子	ひだ　きみこ	大和銀行	1977.9.26	170	65	福島女子高校
16	田中麻美	たなか　まみ	大阪体育大	1978.1.5	172	68	府立洛北高校
2	山下麗子	やました　れいこ	大和銀行	1977.10.5	170	65	大谷高校
3	巽　奈歩	たつみ　なほ	大和銀行	1978.1.19	168	61	福島女子高校
5	中村友美	なかむら　ともみ	北国銀行	1977.6.23	167	60	福井商業高校
7	濱田香織	はまだ　かおり	北国銀行	1977.7.7	161	60	小松商業高校
8	松永恵美子	まつなが　えみこ	ジャスコ	1977.1.22	165	57	小松商業高校
9	佐久川ひとみ	さくがわ　ひとみ	大崎電気	1977.7.21	161	60	浦添高校
11	山崎理恵	やまざき　りえ	立山アルミ	1977.11.4	158	57	福島女子高校
13	菅谷美枝	すがや　みえ	ブラザー工業	1977.5.31	170	65	名短大付属高校
14	稲吉希穂	いなよし　きほ	シャトレーゼ	1977.9.28	162	59	水海道第二高校
15	穂積知紘	ほずみ　ちひろ	大崎電気	1978.1.11	169	63	夙川学院高校
18	坂元智子	さかもと　ともこ	オムロン	1978.8.12	171	60	夙川学院高校
19	斎藤　香	さいとう　かおり	北国銀行	1978.7.26	167	61	四天王寺高校

第6回アジア選手権大会兼 第13回女子世界選手権アジア予選

全日本女子、見事世界選手権への出場権を獲得

6月4日〜6月12日の期間、中近東ヨルダンに於いて大会が開催された。チームに取っては世界選手権の出場権を得る重要な大会である。何度も開催場所や期日が変更になったり、中東地域の独特な運営方式による参加国の変更、試合方式の組み替えなど日常では考えられない中で戦いを行なった。経験を積んだ者を中心に、初体験の者がよく頑張りを見せて世界選手権大会への出場権を勝ち取ったことは、将来に継ぐ大きい成果を得ることが出来た。

【参加国・順位】
1位　韓国
2位　中国
3位　日本
4位　ウズベキスタン
5位　台湾

戦評

■6月4日：第1試合
日本22（13−11 9−16）27韓国

番号		得点
1	松尾　香代	
12	山下美智子	
2	田村　啓子	8
5	上出恵美子	3
6	松本　恵美	
8	硲　美樹	2
9	杉原　奈々	2
10	田中美音子	6
13	辻　賀奈子	
14	田口　順子	
15	田中由美子	1
17	藤浦　美絵	

試合の立ち上がりで攻撃展開が良く、後半残り15分まで日本のペースで展開が流れた。前半の展開は、田村・上出・硲のステップシュート、ミドルシュートが得点に結び付き、常に2点差をリードして試合を優位に進めた。前半は攻撃も防御も崩れる事なく展開が出来たが、後半に入り徐々に中国に防御が下に押し込まれ、ロングシュートによって得点された。中国に展開が変わる中、エースにマンツーマン方式を取り流れを呼び戻す方法をとるが、決定的な結果を得られず、残り10分間19対19の同点からシュートミス、防御の崩れで試合を落とした。

■6月5日：第2試合
日本25（12−7 13−5）12台湾

番号		得点
1	松尾　香代	
12	山下美智子	
2	田村　啓子	7
5	上出恵美子	4
6	松本　恵美	
8	硲　美樹	
9	杉原　奈々	2
10	田中美音子	5
13	辻　賀奈子	2
14	田口　順子	
15	田中由美子	4
17	藤浦　美絵	1

試合開始8分で連続得点を加え5対0とリードする立ち上がり。個人技によって簡単に取れる展開からコンビプレーを行わず、チーム全体が個人技に走り攻撃が単調になる。時間経過とともに、個人技を読まれるにしたがって展開のリズムが崩れて苦しい展開が続く。苦しい展開は防御にも影響を及ぼし、得点の上でリードはしているものの攻撃・防御にリズムもコンビプレーも合わせることが出来ず、苦しさから解放されず試合が流れた。台湾の攻撃展開の単調さに助けられたが、前後半ともに個人技に頼った展開が多く見られた。

■6月7日：第3試合
日本23（8−10 15−6）16ウズベキスタン

試合立ち上がり、硲のステップ

表1

	KOR	CHN	JPN	UZB	TPE
総得点	156	115	88	74	46
総失点	71	89	91	105	123
平均得点	39	28.75	22	18.5	11.5
平均失点	17.75	22.25	22.75	26.25	30.75

カットインプレーで2連続得点でリズムをつかむかに見えたが、ウズベキスタンのステップシュート・ポストプレーに防御が守り方をしぼり切れずコンビプレーのリズムを取れず、前半はウズベキスタンのリードで終了する。後半防御を高くあげ、ロングシューターに対するアタックを中心に守り方を変え、ポストシュートの失点は覚悟した。防御の切り換えが選手の動きとコンビプレーを生き返らせ、防御にリズムが持てるようになった。自分達のペースとリズムを取りもどし、有利に展開を運ぶことがウズベキスタンのパスミス・シュートミスを生み、ミスを速攻に切り換え得点に結び付けることが出来て、後半はペースを持った展開が出来た。上出・田村・田中(美)の経験豊かな選手がチームをよくリード出来た試合であった。

番号		得点
1	松尾　香代	
12	山下美智子	
2	田村　啓子	5
5	上出恵美子	2
6	松本　恵美	
8	硲　　美樹	2
9	杉原　奈々	4
10	田中美音子	5
13	辻　賀奈子	3
14	田口　順子	
15	田中由美子	
17	藤浦　美絵	2

■6月8日：第4試合

日本18（7－15 / 11－21）36韓国

技術的にもパワーに於ても韓国が上である。現状の中でどのように対応し最後まで日本としての戦いが出来るかが課題であった。前半立ち上がり精神的な圧力に負け、1歩も2歩も引いた攻撃内容でリズムを持てない状態が15分間続いた。しかし防御では残り10分間で、失点9点と言う頑張りを見せて練習成果を見ることが出来た。攻撃的で得点することが出来ず、防御活動だけでは局面を乗り切れなかった。世界のAランクに位置するチームとの戦いには、ロングシューター不足は苦しい戦いになる事を実感させられた。後半、ステップシュート、速攻を生かせる展開によってチームにリズムが戻ったが、試合は終わっていた。点数は開いたが、最後まで力を出し切る努力が見られたし、頑張る姿勢に目標が見えた。

番号		得点
1	松尾　香代	
12	山下美智子	
2	田村　啓子	5
5	上出恵美子	
6	松本　恵美	
8	硲　　美樹	2
9	杉原　奈々	3
10	田中美音子	3
13	辻　賀奈子	
14	田口　順子	4
15	田中由美子	
17	藤浦　美絵	1

表6　全日本得点

	得点	割合
サイド	11	12.5%
ポスト	12	13.6%
ロング	32	36.4%
カットイン	7	8.0%
速攻	12	13.6%
P.T	14	15.9%
計	88	

表6　全日本失点

	得点	割合
サイド	12	13.2%
ポスト	11	12.0%
ロング	32	35.2%
カットイン	10	11.0%
速攻	16	17.6%
P.T	10	11.0%
計	91	

表4　4試合による個人得点表

	No.	氏名＼国	中国	台湾	韓国	ウズベキスタン
GK	1	松尾　香代				
〃	12	山下美智子				
〃	16	山口　文子				
CP	2	田村　啓子	8	7	5	5
〃	3	山形　雪子				
〃	4	後藤　　園				
〃	5	上出恵美子	3	4		2
〃	6	松本　恵美				
〃	7	青戸あかね				
〃	8	硲　　美樹	2		2	2
〃	9	杉原　奈々	2	2	3	4
〃	10	田中美音子	6	5	3	5
〃	13	辻　賀奈子		2		3
〃	14	田口　順子			4	
〃	15	田中由美子	1	4		
〃	17	藤浦　美絵		1	1	2
		合計得点	22点	25点	18点	23点

高松宮杯第38回全日本実業団ハンドボール選手権大会（男子の部）

中村荷役2年連続3回目の優勝なる

高松宮杯・第38回全日本実業団ハンドボール選手権大会（男子の部）は平成9年5月1日(木)～5月4日(日)の4日間愛知県体育館で行われました。

今大会は日本ナショナル選手は世界選手権熊本大会に備えて合宿中であり不参加、試合は初日4試合、トヨタ車体、三陽商会、日新製鋼、大崎電気が順調に勝ち進みました。

試合後、日本対ポルトガルと親善名古屋大会が行われ大会を盛り上げてくれました。

2日目は順位戦ではアラコ九州と三景が勝ち、準々決勝は前回優勝チームの中村荷役はトヨタ車体を下した。本田技研は三陽商会のミスとディフェンスの詰めの甘さで大差であったが、三陽商会も後半速攻で追撃したが前半の失点が大きくひびき本田技研がからくも逃げ切った。大同特殊鋼と日新製鋼の試合は、前半大同特殊鋼のペースで日新製鋼はペースに乗れずリバウンドボール等を大同特殊鋼に取られ、速攻で攻められ苦しかったが、後半日新製鋼は大同特殊鋼のディフェンスが悪くなったところを速攻等で追い上げたが、1点差で負ける。湧永製薬は大崎電気のシュートミス等で得点を加点しゲームの流れが常に湧永製薬ペースで進んだ試合であった。

3日目は順位決定戦、アラコ九州が選手権大会の9位に残った。準決勝は、中村荷役は趙の多彩なシュートで本田技研を翻弄するが本田技研も平松の連続3点などで試合が進みノータイムでは趙がトリックシュートで得点を加点し本田技研も粘り強く1点差まで詰め寄るも最後は7mスローで突き放される。湧永製薬は立ち上がり3連続得点で、大同特殊鋼も新人市原のミドル、ロングシュートで応戦し、一進一退となるが、湧永製薬は速攻や、セットプレーのコンビネーションが冴え主導権を握る。後半は大同特殊鋼の林（イム）が頑張り、得点差が縮まると、湧永製薬は林にマンツーマンディフェンスを仕掛け大同特殊鋼は単調な攻撃になり湧永製薬は着実に得点して勝った。3位決定戦では大同特殊鋼は、林、市原で得点し、本田技研は斉藤のロングシュートで加点し、大同特殊鋼の林はマンツーマンディフェンスされて前半は同点で折り返す。後半は大同特殊鋼の林が退場になってからディフェンスが粘り強くなり本田技研のミスからの速攻等で勝った。

優勝戦は前年度同様、中村荷役対湧永製薬で両外人がいかに活躍するか期待される試合、中村荷役は1－2－3、湧永製薬は一線ディフェンスでの防戦で始まり、湧永製薬は堀田のサイドシュートで動き、一喜一憂の攻防戦は後半16分まで続いたが湧永製薬が退場者を出した時、中村荷役は泉、趙等で加点したが、趙が退場した時は湧永製薬が得点できず、試合を苦しくし、中村荷役は着実に加点して試合を決めた。2年連続3回目の優勝を果たした。

今大会では新人は湧永製薬の森山、大同特殊鋼の市原（全日本実連副会長の長男）が目立ち今後に期待がかかります。また各チームのGKの活躍が印象に残った。

今大会より新理事長、近森克彦氏（三陽商会）の指導の下、全日程無事に大きなケガもなく終了しました。また審判員の方、大会補助員（大学生、高校生）にも絶大なる協力をいただき試合がスムーズに進行することができました。ありがとうございました。

■準決勝戦

湧永製薬22（13－10、9－9）19大同特殊鋼

戦評／湧永製薬の3連続得点で試合は始まったが、対する大同特殊鋼も市原の倒れ込みながらのミドルシュートや林（イム）のロングシュートで応戦し、ゲームは一進一退となる。しかし湧永製薬は速攻や、セットプレーでのコンビプレーが冴え、主導権を握る。大同特殊鋼は前半残り8分からブラマスにマンツーマンディフェンスを試みるが、小兵・森山にロングを決められると再び一線に戻す。するとブラマスにロングを打たれるといったように、ちぐはぐさが目につく。結局、3点のビハインドを許し、前半を終了した。

後半開始早々、湧永製薬は森山が速攻でゲット。その後両チーム激しいシュート合戦となるが両GKの好守もありなかなか得点が伸びない。大同特殊鋼はブラマスに再びマンツーマンディフェンスを敷き、何とか流れを引き込もうとするが、チャンスにミスが出るなど苦戦を強いられる。なかなか3点差を詰められない大同特殊鋼は、17分、林のロングが決まり2点差とし、ラスト10分の攻防に望みを

[最終順位]

1位　中村荷役
2位　湧永製薬
3位　大同特殊鋼
4位　本田技研
5位　日新製鋼
6位　三陽商会
7位　トヨタ車体
8位　大崎電気
9位　アラコ九州
10位　三景
11位　デンソー
12位　トヨタ自動車

[表彰選手]

ベスト7
坪根敏宏（湧永製薬）
趙　範衎（中村荷役）
泉　光介（中村荷役）
堀田敬章（湧永製薬）
ブルーノ・リホ・ブラマス（湧永製薬）
林　珍錫（大同特殊鋼）
広政宣孝（本田技研）

最優勝監督賞
朴　英大（中村荷役）

新人賞
森山　透（湧永製薬）

つないだ。その後湧永製薬は林にマンツーマンディフェンスを仕掛け、両者同じような展開のゲーム様相となっていた。終盤、湧永製薬は決定的なノーマークチャンスを幾度か得るが、大同GK日原のスーパープレーが続き、何とか食らいついていく。しかし、攻撃が単調で、ロングシュート勝負となり、湧永製薬GK坪根にシャットアウトされ、重苦しい雰囲気になっていったが、残り2分を切ったところで、湧永製薬ブラマスが2分間退場となり、大同特殊鋼セブンが最後のスパートをかけた。しかし、追いつめるには至らず湧永製薬が逃げ切った。全体としては、ゲーム滑り出しに集中力を見せた湧永製薬が、攻撃の多様さで上回り、勝利を収めたという印象であった。

■準決勝戦

中村荷役21（13－10 / 8－9）19本田技研

戦評／立ち上がりから両者共に持ち味を出したプレーが次々と生まれた。

本田技研11番平松の3連続ゴールでリードしたが中村荷役13番趙の多彩なシュートにより25分、同点となる。中村荷役は、ノータイムフリースローから13番趙のトリックシュートで13－10とリードで前半を終える。

後半、中村荷役3点リードのまま、一進一退の攻防が続く。本田技研も途中粘りを見せ17分、10番広政のロングシュートで17－18と1点差に追いついた。しかし、中村荷役は趙を中心としたプレーで着実に加点し、3点リードのまま残り1分30秒、本田技研も最後の粘りを見せ19－20と1点差まで追い上げたが、中村荷役にペナルティーを与えて万事休す。2点差で中村荷役が逃げ切った。

■3位決定戦

大同特殊鋼24（12－12 / 12－10）22本田技研

戦評／前半中盤から大同特殊鋼が林、市原のロングシュートから徐々に点差を広げるが、本田技研は林にマンツーマンディフェンスにつく間、速攻によって同点に追いついた。本田技研は前半、斎藤のロングシュートが目立った。

後半、大同特殊鋼は林の退場、失格から危機を迎えるが、大同特殊鋼は粘り強いディフェンスと、米倉のミドルシュートでピンチをしのいだ。27分過ぎ、本田技研のミスから速攻等により、2点差をつけ大同特殊鋼の勝利に終わる。

■決勝戦

中村荷役22（10－10 / 12－9）19湧永製薬

戦評／試合は決勝戦の緊張高まる中、湧永製薬のスローオフで始まり、堀田のサイドシュートが決まり、湧永製薬が先制点をあげる。中村荷役は1－2－3ディフェンス、湧永製薬は一線防御を敷き、決勝戦にふさわしい質の高い攻防で、互いに得点を重ねる一進一退のゲームとなった。中村荷役は趙を主にロングシュートを軸に攻めれば、湧永製薬は速攻やセットでのサイド攻撃で反撃する。しかし、前半10分過ぎあたりから湧永製薬が趙にマンツーマンディフェンスを試みてから中村荷役の攻撃が単調になり、この間に湧永製薬は速攻などで4連取。3点のリードをつける。対する中村荷役は前半終盤に意地を見せ、趙のカットインプレーや速攻で応戦し、前半終了間際に再び趙がステップシュートを決め同点とし後半へ折り返した。

後半立ち上がりお互いにポストシュートを決め前半の流れのままスタートしたが、中村荷役は3分、4分、5分と立て続けに速攻を決め主導権を握る。湧永製薬も速攻から河原がサイドシュートを決めるなど応戦するが、11分33秒、森山のラフプレーでの退場の間に趙に連続得点を決められ、なかなか追いつめられない。しかし、粘る湧永製薬は15分30秒に河原、16分45秒に堀田の両ベテランがしぶとくゴールをゲットし、再びゲームを振り出しに戻した。その後は手に汗握る攻防が繰り広げられたが20分16秒に湧永製薬高田がホールディングの反則で退場すると泉、趙がカットインからシュートを決め、差を3点差とした。湧永製薬は逆に趙が退場した間に河原が決めるにとどまり、2点差で残り時間5分を切った。そして、27分41秒に木浪がインターセプトから1人で持ち込み得点すると、湧永製薬セブンの緊張の糸も切れ、その後両チーム共1点ずつを重ねたが、3点差のままタイムアップ。中村荷役が2年連続3回目の優勝を収めた。

高松宮杯第38回全日本実業団ハンドボール選手権大会（女子の部）

日立栃木10年ぶり2回目の優勝を飾る

全日本実業団ハンドボール連盟　副理事長　吉澤力男

高松宮杯・第38回全日本実業団ハンドボール選手権大会（女子の部）が、平成9年5月2日から5日の4日間、日本ハンドボール協会並びに全日本実業団ハンドボール連盟主催のもとに、大阪府守口市民体育館で開催された。

本大会は38回目を迎え13チームが参加し覇権を競った。また、本年は熊本県での「男子世界ハンドボール選手権」、大阪でも「なみはや国体」を開催する意義ある年に全日本実業団選手権大会を大阪で開催できることとなった。本大会は、ハンドボール界にとってのビッグゲームの一番バッターで、各チームそれぞれ補強による新チームでスタートとする最初の公式戦である。従来の戦績を白紙に戻し、各チームは試合に全力を投入するため、どのチームが優勝するか予測がつかない。過去には日本ハンドボールリーグ2部のチームが優勝をした実績のある興味のある大会でもある。

今、世界の経済界では規制緩和が叫ばれており、日本のスポーツ界でもレベルアップを目指し外国人選手の補強が盛んで、ハンドボール界も例外ではなく、年々外国人選手が増加傾向を強め、本大会ではコーチ、選手合わせて13名が登録され、有力新人と合わせて活躍が大いに期待され、興味のある見どころともなった。また、本大会の優勝・準優勝チームは「97アジアクラブ選手権（6月19日から29日・於ソウル）の出場権を獲得することとなった。

■準決勝戦

北国銀行28（15－10、13－16）26大崎電気

戦評／前年度優勝の大崎電気に対し、日本リーグ3位の北国銀行の対戦。北国銀行のディフェンスを大崎電気の韓国ペアがいかに崩すかが試合の焦点。

前半、北国銀行は大崎電気のパスミス、パスカットを速攻につなぎ好スタートを切った。しかし大崎電気も宋のミドル、船津のカットインですかさず同点とする。中盤にかけて北国銀行は、上出のミドル、7mスロー、田中（美）のロングで着々と点を重ねて5点差とし後半に入る。

[最終順位]

順位	チーム
1位	日立栃木
2位	北国銀行
3位	イズミ
4位	大崎電気
5位	シャトレーゼ
6位	ジャスコ
7位	オムロン
8位	立山アルミ
9位	大和銀行
10位	ブラザー工業
11位	ソニー国分
12位	ムネカタ
13位	自衛隊体育学校

[表彰選手]

ベスト7

今野清美（日立栃木）
伊左野実保（日立栃木）
白　仁淑（日立栃木）
沖土居真子（日立栃木）
小松真理子（北国銀行）
田中美代子（北国銀行）
青戸あかね（イズミ）

最優秀監督賞

伊藤宏幸（日立栃木）

最優秀新人賞

軽部恭子（イズミ）

最高殊勲選手賞

（大阪府知事・横山ノック賞）
沖土居真子

中盤まで北国銀行のディフェンスを崩せなかった大崎電気は金のリードで船津、川村のミドル、サイドが決まり出し、金の7mスロー、江連のポストで25分、1点差まで追い込み勝負の行方は全くわからなくなる。しかし北国銀行は、田中のミドル、上出の7mスローでようやく大熱戦の決着をつけた。大崎電気の後半の激しい追い込みで大いに盛り上がった一戦となった。（北国銀行・上出12得点、田中8得点、大崎電気・船津8得点、金7得点）

■準決勝戦

日立栃木25（13－9／12－10）19イズミ

戦評／日本リーグプレーオフ決勝戦と同じカード。

　エース林をマンツーマンディフェンスで攻撃を封じられたイズミは、日立栃木の堅いディフェンスの前に全く沈黙、これに対し日立栃木は、白のロング、沖土居のミドル等で着々と加点し、4点差で後半に入る。

　後半に入るや洪のミドル、フリースローからの林のアシストによる得点でイズミは猛反撃に転じ、中盤で逆転し2点差とする。しかし、日立栃木は中盤からディフェンスを立て直し、勝負どころで沖土居のミドルがおもしろいように決まり逆転、終盤3連続ゴールで5点差とし勝負をつけた。日立栃木の堅いディフェンスの勝利。（日立栃木・白8得点、沖土居6得点、イズミ・洪7得点）

■3位決定戦

イズミ30（13－8／17－12）20大崎電気

戦評／前半、林、金にマンツーマンディフェンスがそれぞれにつく戦局で、イズミは洪のロング、ミドル、中村のサイドで得点を重ねるのに対し、大崎電気の動きが固く、宋のミドルが対抗するが前半5点差で後半に入る。

　後半に入ってもイズミは、藤澤、青戸、中村の活躍で中盤には10点差とし、ほぼ勝負の行方を決めた。外国人選手をアシストする選手層の厚さでイズミが勝った一戦であった。（イズミ・中村8得点、大崎電気・宋9得点）

■決勝戦

日立栃木26（10－13／16－8）21北国銀行

戦評／立ち上がりから両チームともチャンピオン戦にふさわしいスピードあふれる攻防を展開した。

　前半、北国銀行の小柄ではあるがスピードのある小松の大活躍で中盤に3点差とする。これに対し日立栃木も小兵・沖土居のミドル、伊佐野の活躍で3点差を追って後半に入る。

　後半立ち上がり、日立栃木は、中山、松本、白が連続ゴールし、同点とし試合を振り出しに戻した。試合の流れと勢いは日立栃木に傾いており、伊佐野、白を中心に得点を重ねるのに対し北国銀行も小松、田中（美）の頑張りがあるものの3点差は縮まらない。しかし終盤北国銀行は、田中、和田の連続ゴールで1点差にせまり場内は沸きにわくこの勝負どころで日立栃木は、伊佐野、沖土居、白が連続ゴールし優勝をもぎ取った。ハンドボールの原点はスピードである。この手本を示した両チームに万来の拍手を送る。

　日立栃木の優勝は、10年ぶり2回目であるが、選手各人が自分の役割を果たし、外国人選手もチームによく溶け込み、堅いディフェンスを崩さなかったのが勝因と言える。ここまで育てた伊藤監督の指導に敬意を表する。

日本・韓国　スポーツ交流事業

<日本・韓国親善ハンドボール交流会(u-16)>

4月になり(財)日本体協、(財)JOCからジュニア選手(中高生の)競技力向上事業の説明がなされ、年度途中ではあるが、以下の様に実施にむけて計画を進めている

1.目　　的　日韓両国の親善と友好を一層促進するためにジュニア選手を対象にスポーツ交流を行う。併せて、両国のより一層のスポーツ振興と選手の競技力向上を図る。
2.主　　催　(財)日本体育協会　(財)JOC
3.主　　管　(財)日本ハンドボール協会
4.後　　援　文部省、高体連、(財)日本中体連
　　　　　　関係府県ハンドボール協会
5.期　　日　平成9年8月11日～17日(韓国来日)
　　　　　　〃　8月29日～9月4日(訪韓)
6.対象年齢　12才～16才
7.交流形態　合同合宿方式；大会形式
8.会　　場　近畿ブロックを中心に行う。

フェスティバル大会'97熊本

男子

【開催日】
平成9年5月23日～25日
平成9年5月28日～30日

【開催会場】
鹿本町民体育館
鹿央町公民館

【参加チーム】
実業団…9チーム
一般…7チーム
学生…7チーム
高校生…1チーム
全日本ジュニア

【試合結果】

■5月23日(金) 鹿本町民体育館
湧永製薬 16-14 大崎電気
大同特殊鋼 12-11 日新製鋼
大崎電気 15-10 パームヒルズクラブ
湧永製薬 11-10 瓊浦高校
大崎電気 14-11 日新製鋼
パームヒルズクラブ 22-10 クラブ選抜
大同特殊鋼 15-10 湧永製薬
三景 10-5 瓊浦高校
日新製鋼 13-7 桃山学院大学
大同特殊鋼 19-7 パームヒルズクラブ
岐阜西クラブ 11-9 クラブ選抜
三景 15-12 桃山学院大学

■5月24日(土) 鹿本町民体育館
北送会 13-7 クラブ選抜
三景 13-7 今治クラブ
湧永製薬 27-5 岐阜西クラブ
三景 14-12 北送会
大崎電気 21-2 クラブ選抜
今治クラブ 16-9 岐阜西クラブ

■5月24日(土) 鹿央町公民館
香川選抜 16-10 パームヒルズクラブ
大同特殊鋼 10-8 福岡大学
日新製鋼 12-11 桃山学院大学
福岡大学 14-11 パームヒルズクラブ
大同特殊鋼 13-10 香川選抜
瓊浦高校 12-11 桃山学院大学

■5月25日(日) 鹿本町民体育館
日新製鋼 14-13 三景
湧永製薬 22-9 香川選抜
湧永製薬 19-5 パームヒルズクラブ
大同特殊鋼 13-8 香川選抜

■5月25日(日) 鹿央町公民館
大崎電気 10-10 桃山学院大学
瓊浦高校 16-7 クラブ選抜
瓊浦高校 12-12 今治クラブ
大崎電気 18-6 北送会

■5月28日(水) 鹿本町民体育館
全大阪 13-7 函館大学
順天堂大学 12-9 中京大学
大崎電気 12-10 全大阪
中京大学 11-7 函館大学
全大阪 13-6 順天堂大学
大崎電気 12-9 函館大学
大崎電気 16-10 中京大学
全大阪 16-15 中村荷役
中村荷役 15-14 函館大学
大崎電気 14-7 順天堂大学
中村荷役 13-12 順天堂大学
中村荷役 14-11 中京大学

■5月28日(水) 鹿央町公民館
三陽商会 13-7 国士舘大学
本田技研 18-12 トヨタ車体
日体大C 16-13 ナショナルJr
三陽商会 14-12 日体大A
本田技研 20-10 日体大C
トヨタ車体 17-7 ナショナルJr
日体大A 15-14 国士舘大学
三陽商会 15-8 日体大B
本田技研 19-12 日体大A
日体大B 14-8 ナショナルJr
トヨタ車体 14-11 日体大C
国士舘大学 13-9 日体大B

■5月29日(木) 鹿本町民体育館
本田技研 13-7 函館大学
本田技研 13-9 国士舘大学
大崎電気 12-10 国士舘大学
国士舘大学 11-11 函館大学
本田技研 11-8 全大阪
大崎電気 11-10 順天堂大学
全大阪 14-8 国士舘大学
順天堂大学 13-7 函館大学
大崎電気 12-9 全大阪

■5月29日(木) 鹿央町公民館
トヨタ車体 17-9 日体大B
中村荷役 18-5 ナショナルJr
日体大A 13-12 中京大学
中村荷役 14-13 三陽商会
トヨタ車体 14-7 ナショナルJr
三陽商会 16-11 中京大学
中村荷役 15-8 日体大A
トヨタ車体 17-5 中京大学
ナショナルJr 15-12 日体大C

■5月30日(金) 鹿本町民体育館
トヨタ車体 14-9 函館大学
大崎電気 15-11 順天堂大学
本田技研 12-7 中京大学

■5月30日(金) 鹿央町公民館
三陽商会 21-4 ナショナルJr
全大阪 12-10 日体大A
中村荷役 14-6 国士舘大学

女子

【開催日】
平成9年5月17日～19日
5月23日～25日
5月28日～30日

【開催会場】
鹿本町民体育館
鹿央町公民館
山鹿市市民スポーツセンター
山鹿市総合体育館
オムロン熊本体育館・グランド

【参加チーム】
実業団…12チーム
一般…4チーム
学生…6チーム
高校生…7チーム
全日本ジュニア

【試合結果】

■5月17日(土) 山鹿市民スポーツセンター
オムロン 13-10 全日本Jr
ソニー国分 14-10 立山アルミ
全日本Jr 20-5 大分明野
オムロン 13-13 立山アルミ
ソニー国分 14-6 大分明野
立山アルミ 16-12 全日本Jr
ソニー国分 16-9 オムロン
立山アルミ 16-13 大分明野

■5月17日(土) 鹿本町民体育館
大和銀行 13-11 自衛隊体育学校

イズミ 8－6 ブラザー
大和銀行 10－9 香川銀行
自衛隊体育学校 13－8 イズミ
ブラザー 8－4 香川銀行
大和銀行 16－12 イズミ
自衛隊体育学校 11－11 ブラザー
イズミ 8－8 香川銀行
大和銀行 11－10 ブラザー
自衛隊体育学校 10－10 香川銀行

■5月18日(日) 山鹿市民スポーツセンター

オムロン 16－11 日立栃木
イズミ 9－7 全日本Jr
日立栃木 10－10 イズミ
オムロン 14－11 全日本Jr
日立栃木 10－9 全日本Jr

■5月18日(日) 鹿本町民体育館

北國銀行 10－8 ブラザー
ソニー国分 12－11 香川銀行
ソニー国分 9－7 北國銀行
ブラザー 11－7 香川銀行
北國銀行 10－8 香川銀行
ソニー国分 15－9 ブラザー

■5月18日(日) 鹿央町公民館

立山アルミ 13－11 大和銀行
自衛隊体育学校 18－12 大分明野
立山アルミ 11－10 自衛隊体育学校
大和銀行 15－10 大分明野
立山アルミ 15－12 大分明野
自衛隊体育学校 13－13 大和銀行

■5月19日(月) 山鹿市民スポーツセンター

北國銀行 9－7 全日本Jr
全日本Jr 12－12 大和銀行
北國銀行 13－12 大和銀行

■5月19日(月) 鹿本町民体育館

オムロン 14－13 立山アルミ
自衛隊体育学校 10－9 ブラザー
オムロン 8－8 ブラザー
立山アルミ 17－14 自衛隊体育学校
立山アルミ 11－10 ブラザー

■5月19日(月) 鹿央町公民館

イズミ 11－9 ソニー国分
日立栃木 11－6 香川銀行
香川銀行 9－7 イズミ
ソニー国分 15－14 日立栃木

■5月23日(金) 山鹿市民スポーツセンター

日本体育大学 27－32 シャトレーゼ
シャトレーゼ 25－19 北國銀行
日本体育大学 24－23 北國銀行
北國銀行 25－18 神奈川教員
シャトレーゼ 13－7 日本体育大学
シャトレーゼ 14－9 北國銀行
日本体育大学 14－7 神奈川教員
シャトレーゼ 17－9 神奈川教員
北國銀行 17－10 神奈川教員

■5月23日(金) 山鹿市総合体育館

オムロン 22－17 自衛隊体育学校
オムロン 23－9 盛岡第二高校
自衛隊体育学校 27－22 武庫川女子大学
オムロン 27－20 武庫川女子大学
自衛隊体育学校 24－16 盛岡第二高校
オムロン 13－8 自衛隊体育学校
武庫川女子大学 12－10 盛岡第二高校
オムロン 17－3 盛岡第二高校
自衛隊体育学校 20－1 盛岡第二高校

■5月24日(土) 山鹿市民スポーツセンター

北國銀行 13－7 京都クラブ
鹿児島南高校 9－5 高水高校
大分鶴崎高校 11－5 華陵高校
北國銀行 10－2 鹿児島南高校
京都クラブ 9－8 大分鶴崎高校
シャトレーゼ 10－2 高水高校
北國銀行 8－5 大分鶴崎高校
京都クラブ 10－9 鹿児島南高校
華陵高校 8－6 シャトレーゼ

■5月24日(土) オムロングランド

盛岡第二高校 9－8 自衛隊体育学校
日本体育大学 15－7 神崎清明高校
日本体育大学 13－5 盛岡第二高校
オムロン 11－6 日本体育大学
武庫川女子大学 11－7 岩国商業高校
神崎清明高校 15－8 岩国商業高校

■5月25日(日) 山鹿市民スポーツセンター

大分鶴崎高校 14－12 自衛隊体育学校
神奈川教員 14－7 華陵高校
ジャスコ 12－8 自衛隊体育学校
大分鶴崎高校 13－9 華陵高校
ジャスコ 11－6 神奈川教員
自衛隊体育学校 11－7 華陵高校
神奈川教員 8－7 大分鶴崎高校
ジャスコ 14－7 華陵高校
自衛隊体育学校 14－11 神奈川教員

■5月25日(日) 山鹿市総合体育館

オムロン 15－0 高水高校
福岡大学 13－7 神崎清明高校
日本体育大学 11－10 オムロン
福岡大学 15－8 盛岡第二高校
日本体育大学 12－11 福岡大学

■5月25日(日) オムロングランド

北國銀行 12－3 盛岡第二高校
武庫川女子大学 12－9 岩国商業高校
京都クラブ 6－5 鹿児島南高校
北國銀行 12－4 岩国商業高校
盛岡第二高校 7－5 京都クラブ
武庫川女子大学 7－4 鹿児島南高校
北國銀行 10－4 京都クラブ
武庫川女子大学 15－5 高水高校
武庫川女子大学 13－4 岩国商業高校

■5月28日(水) 山鹿市民スポーツセンター

ジャスコ 30－21 自衛隊体育学校
中京大学 22－11 九州女子大学
ジャスコ 29－12 九州女子大学
自衛隊体育学校 25－17 中京大学
ジャスコ 14－11 中京大学
自衛隊体育学校 29－18 九州女子大学

■5月28日(水) 山鹿市総合体育館

オムロン 28－22 大崎電気
大阪体育大学 20－19 オムロン
大崎電気 27－25 大阪体育大学
大崎電気 24－19 オムロン
オムロン 30－19 大阪体育大学
大崎電気 24－24 大阪体育大学

■5月29日(木) 山鹿市民スポーツセンター

自衛隊体育学校 16－5 九州女子大学
大阪体育大学 18－3 九州女子大学
大阪体育大学 12－9 九州女子大学
自衛隊体育学校 13－9 大阪体育大学
自衛隊体育学校 10－8 大阪体育大学
自衛隊体育学校 17－9 九州女子大学

■5月29日(木) 山鹿市総合体育館

オムロン 13－10 ジャスコ
ジャスコ 9－7 中京大学
オムロン 9－7 中京大学
ジャスコ 6－6 中京大学
オムロン 11－5 中京大学

■5月30日(金) 山鹿市民スポーツセンター

ジャスコ 10－3 中京大学
大阪体育大学 6－5 中京大学
ジャスコ 8－7 大阪体育大学
ジャスコ 8－8 中京大学
中京大学 9－4 大阪体育大学

■5月30日(金) 山鹿市総合体育館

オムロン 12－6 自衛隊体育学校
自衛隊体育学校 15－6 九州女子大学
オムロン 22－10 九州女子大学

'97ジャパンカップ開催に向けて

東根　明人

大会概要と背景

'97ジャパンカップは、日本協会60周年記念事業の一環として、8月29日(金)～8月30日(日)の3日間、横浜文化体育館と船橋スポーツアリーナで開催します。

参加チームは、男女日本ナショナルチームをはじめ、男女23才以下日本ナショナルチーム。外国からは、男子が尚武（韓国：'94、'96世界軍隊選手権大会優勝）とSCマクデブルク（ドイツ：ブンデスリーガ1部所属、'96ドイツカップ優勝、'97ヨーロッパカップベスト4）が来日します。

女子は、中国のクラブチームとVFBライプチヒ（ドイツ：ブンデスリーガ1部所属、'96ドイツカップ優勝、'97ヨーロッパカップ準優勝）を招待しています。

男女4チームが、1回戦総当たりのリーグ戦方式で「ジャパンカップ」を競うのです。熊本で行われた男子世界選手権大会は、大会史上最高の観客を集め、大盛況のうちに幕を閉じました。世界選手権を機に、ハンドボールを知った人たちがたくさんいるでしょう。愛好者の方々は、ますますハンドボールが好きになったのでは。

世界選手権におけるナショナルチームの活躍により、マスコミにも注目を浴びています。世の中は、世界レベルのナショナルチームを期待しているといいます。世界選手権やオリンピックを舞台にした高度なパフォーマンスを望んでいるのでしょう。女子も、今冬ドイツで行われる世界選手権の出場権を獲得しました。ナショナルチームの予備軍でもある23才以下は、世界学生選手権で男子がロシアを破り、6位入賞を果たすなど着実に力をつけています。

このような現状を踏まえつつ、日本チームの強化とともに、国民の一人でも多くにハンドボールを知ってもらう必要があります。さらに、国際大会を開催する重要な意義は、国際交流や協同事業へ発展できる可能性が含まれている点です。メジャー化へは、まだまだ取り組む課題が山積みしています。日本協会では、問題を整理し、課題解決に向け具体的行動計画に基づき、活動しています。今回開催するジャパンカップは、その第一歩ともいえるでしょう。一方で、こういった国際イベントは、定期的・長期的に行うことが大切です。そのためには、皆さんのご協力が、是非とも必要となります。

ドイツチームの紹介

今回来日するチームのうち、ブンデスリーガ開幕を2週間後に控えたドイツチームを簡単に紹介します。

SCマクデブルクは、1957年設立された旧東ドイツ地域にあるチームです。ハンドボールの他、ボート・陸上・体操・水泳競技を強化種目としています。ハンドボールは特に熱を入れており、'97シーズンには大幅なトレードが行われました。ちなみにハンドボールには、5、6社の大手と、100社ほどの中小のスポンサーがついています。さらに、某スポーツメーカーが冠スポンサーに付く予定。こういった豊富な資金があるため、先の世界選手権でオールスターチームに選ばれたG・ケルパデク（フランス）、熊本大会、ソウル・バルセロナ両オリンピック優勝のV・アタビン（ロシア）の加入が可能となるのでしょう。さらに、左腕エースR・リク（ルーマニア代表）、センター：V・ペトケペシス（ドイツ代表）、GK：H・フリッツ（ドイツ代表）、左サイドがドイツ国内人気No.1、S・クレッチマーという布陣です。S・クレッチマーは、ヨーロッパで唯一ナイキが個人スポンサーになっている選手です。ロック歌手のような頭髪や格好なのですが、アクロバティックで意外性のあるプレーで圧倒的な人気を誇っています。彼の父親は、東ドイツ女子ナショナルチームの監督を長年務めていましたし、母親は、プレーヤーとして世界選手権で銀メダルを獲得するなど、ハンドボール一家に育ちました。右サイドにもフランス代表が決まっていますので、各国代表メンバーによるチーム構成となります。代表チームと違い、トレーニング期間が長くありますので、いろいろなコンビネーションプレーが見られるでしょう。

監督のL・デューリングにも注目していただきたい。プレーヤーとしては、モスクワオリンピックで東ドイツ代表として優勝していますし、日本にも来日しました。'78世界選手権では日本と対戦し、日本のエース蒲生選手の顔面にシュートをぶつけた、といった因縁もあります。指導者という側面から見ると、東西ドイツ統一後に行われた'93女子世界選手権優勝を筆頭に、現代ドイツのトップ指導者に挙げられています。SCマクデブルクとは、'95－'99の契約をしています。

続いて、VFBライプチヒのプロフィールを。このチームも、旧東ドイツ地域にあります。もともとは、SCライプチヒ（1887年創立）に所属していましたが、90年の東西ドイツ統一の際に財政困難に陥りました。そこで、女子チームを再建するため、VFBライプチヒ（サッカーの2部リーグチームを所有）がチームごと引き

取ったという経緯があります。マクデブルクの選手は、ほとんどプロですが、ライプチヒの選手たちは契約選手になっています。2年連続ブンデスリーガ準優勝と、こちらもトップチームです。構成メンバーは、33才のK・ミュルナー（元東ドイツ代表、'93世界選手権ドイツ代表）を中心に、GK：M・シャンセ（ドイツ代表、'93世界選手権優勝、アトランタ出場）、右サイド：C・シツェビスキ（ドイツ代表、'93世界選手権優勝、アトランタ出場）、弱冠19才（大学1年生）の左腕エース、G・ユラック（ドイツ代表、アトランタ出場）とセンター：I・ラゼビシュテ（リトアニア代表）らと予想されます。

K・ミュルナーは、ハンドボールプレーヤーとしてはもちろん、働く女性としても市民から絶大な支持を得ています。家庭を持ち、夕方4時まで働き、トレーニングをする毎日です。次のオリンピックを目指していると、張り切っています。G・ユラックは、昨年からナショナルチーム入りした、ドイツ期待の左腕（185cm）です。今年から大学に通い、法学を勉強しています。ジュニア時代から注目されていましたが、昨年高校3年生でナショナルチームの一員となるや、目覚ましい活躍をみせています。

ハンドボールに関しては、マクデブルク市以上に応援体制が整っているように思います。研究所・トレーニング施設・スポーツ学校など、さまざまなスポーツ対策が行われています。日本でも、講習会や討論会などゲーム以外の交流も期待されます。

このほか両チームとも、マスコミ関係者（マクデブルクはTV、ライプチヒは新聞記者）が同行します。さらに、州次官をはじめとする行政関係者やスポンサーの人たちも、来日を予定しています。今回のジャパンカップに対する、関心の高さを示しているのではないでしょうか。参加全チームとも、ファンを魅了するゲームをするものと、期待しています。

■入場料

	前売券	当日券	通し券	前売通し券
一　般	2,000円	2,500円	5,000円	4,000円
大学生	1,500円	2,000円	4,000円	3,000円
中高生	1,000円	1,500円	3,000円	2,000円

■日　程

●第1日目　8月29日(金)
船橋アリーナ
(女子)日　本 VS 中　国　17:30
(男子)ドイツ VS 韓　国　19:00
横浜文化体育館
(女子)U－23 VS ドイツ　17:30
(男子)日　本 VS U－23　19:00

●第2日目　8月30日(土)
船橋アリーナ
(女子)ドイツ VS 日　本　15:00
(男子)日　本 VS 韓　国　17:00
横浜文化体育館
(女子)中　国 VS U－23　15:00
(男子)ドイツ VS U－23　17:00

●第3日目　8月31日(日)
船橋アリーナ
(女子)中　国 VS ドイツ　14:00
(男子)韓　国 VS U－23　15:30
横浜文化体育館
(女子)日　本 VS U－23　13:00
(男子)日　本 VS ドイツ　14:30

U-23：日本ナショナルB（23才以下）
(男子)ドイツ：SCマグデブルグ、韓国：尚武
(女子)ドイツ：VfBライプチヒ、中国：コワンシー

日本ハンドボール協会医科学委員長
西山　逸成

貴重なデータをオルソン全日本監督に提供した資料内容等（高橋勝美、久木文子他）がみられた。

また、Dr. Stein Tyrdal（ノルウェー）は、ゴールキーパーの60%がシュート阻止動作のため両肘損傷を抱えているので肘痛予防や軽減のための装具の着用の必要性を述べている。さらに家坂一穂医師（熊本整形外科病院）はハンドボールのみならず、スポーツ種目にみられる疲労骨折の予防面から、トレーニング最盛期（３～６月）に脛骨骨折の多いことからジュニア年代のトレーニング質量への配慮を述べていた。本学会参加者には認定書（P20付表４）が交付された。

第４回スポーツ医学・ハンドボール国際学会は次回男子世界選手権大会と併行して、2000年にカイロで実施予定で が、学会の方向としては、第３回学会開会にあたってエルウイン・ランツＩＨＦ会長が挨拶されたように「この

アフリカハンドボール連盟役員団のKIMONOパフォーマンス

学会を開催することで、選手の傷害が減少し、競技力向上によい影響を与えるであろう」という方向にますます発展していくことであろう。日本ハンドボール界の皆さんにもさらに興味と関心と協力を仰ぎたいものです。

●委　　員　加藤　公　坂口　満　岡本　健
沖本信和　坂本静男　竹内正雄　河野卓也
澤田芳男　阿部徳之助　濱脇純一　田中　守
小林靖幸　森田俊介　津田　修　本田五男

■事 務 局　Miss Diana Kraus, Intercongress Secretariat
津田　修（熊本県ハンドボール協会）
本田五男（熊本整形外科病院）

■協賛団体
ハウメディカジャパン
南九州コカコーラボトリング株式会社
３Ｍ薬品株式会社　整形用製品事業部
ジョンソン＆ジョンソン株式会社
ジャパンチャタヌガコーポレーション
シンマージャパン
熊本整形外科病院、濱田病院

■後援団体
文部省、日本体育協会
㈶日本オリンピック委員会、㈶日本ハンドボール協会
熊本県ハンドボール協会、熊本県教育委員会、
熊本市教育委員、日本臨床スポーツ医学会、
日本体育学会、日本体力医学会、日本整形外科学会
日本医師会健康スポーツ医師会、熊本放送
テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送

付表2

	海外会員	日本国内会員	(小計)	申込書国別人員(22ヶ国)		
参加申込者数	57名	52名	109名	アメリカ―1	コートジボアール―1	パキスタン―3
参加者数	26名	34名	60名	イタリー―1	サウジアラビア―1	ハンガリー―6
演題申込数	36題	14題	50題	イスラエル―1	台北―1	ベルギー―2
発表演題数	26題	14題	40題	イラン―4	日本―52	ポーランド―1
				オーストリア―3	チェコ―1	ポルトガル―1
				オランダ―5	ノルウェー―4	ヨルダン―1
				韓国―2	ドイツ―6	リトアニア―2

第3回スポーツ医学・ハンドボール国際学会の経

熊本市で実施されている世界選手権大会と併行して、5月28日の歓迎会を幕開けに、5月31日までの4日間、市国際交流会館で第3回スポーツ医学・ハンドボール国際学会が実施された。(Sports Iteditine & Handball 3rd Congress)

同学会の経緯は、従来女子世界選手権大会に併せて1992年ノルウェー（オスロ）で第1回を、1995年オーストリア（ウイーン）で第2回が実施された。第3回の開催地は、国際ハンドボール連盟（International Handball Federation）の事業として、医事委員会（Medical Commission）が準備・開催することになり、熊本男子世界選手権大会時に熊本で実施されることになった。

本学会はもちろんＩＨＦのカレンダーで計画された事業であり、学会の組織構成は、ＩＨＦ／MEDICAL COMMITTEEと男子世界選手権大会開催国である日本ハンドボール協会スポーツ医科学委員会との共催事業の形となった（付表１）。参加申込書及び発表演題申込状況は付表２のとおりである。

発表内容は、①ハンドボール選手のスポーツ傷害②運動生理学③リハビリテーション④予防医学⑤女性のスポーツの各分野にわたる基礎的・専門的分野の多岐にわたっていた（Ｐ20付表３）。

ハンドボール選手の傷害に関しては、腱傷害昧関節傷害の治療（Dr.K.Fujikawa・防衛医大）から急性傷害後の治療例（Dr.S.Maehlum・ノンウェー）からヨーロッパにおける最近の外科医療の概念（Dr.G.Langevoort・オランダ）に及ぶ内容であり、運動生理学・トレーニングに関しては、トレーニング栄養学そして選手の心理学、生理学上の限界（Dr.H.Holdhaus・オーストリア）に及ぶ内容であり、リハビリテーションでは、メディカルリハビリテーションとアスレティックリハビリテーションの各段階別特性に触れたものであり、女性のスポーツ（Dr.PetraPlaten・ドイツ）では、男性と同様のトレーニング体系や強化方法では女性の健康や予防医学のスタンスから問題があるとの指摘がなされた。また最近のハンドボール競技の新しい動きとして、規則の改正や新しい概念によってもたらされたエリートハンドボール選手への負担（刺激や負荷）の変化を論じた内容も提示された。

日本国内参加者中、河野・加藤・沖本・北岡・山崎・坂本・橋本・坂田等のスポーツドクター８名や田中・森田・竹内、西山、高橋、久木等のトレーニングドクター群の発表者はいずれも男・女全日本のチームドクター・トレーナーであり、過去の貴重な医・治療の経験に立った今後のメディカルサポートへの示唆を含んだ内容として大会会長ランゲボルト博士から内容と発表能力に賞賛をいただいた。

またポスター発表では、広島アジア大会（1994年）期間中の22競技種目中のハンドボール競技種目の傷病特性を膨大な資料から発表されたもの（有田忍他）や、全日本男子チームの熊本世界選手権大会で予想以上の活躍を見せた背景の一つである体力づくりを体脂肪と筋肉量との両面から

付表１　第3回スポーツ医学・ハンドボール国際学会

■組織委員会

●名誉会長　Erwin Lanc, Austria, President of the IHF

●会　　長　Dr.Gijs Langevoort, NED, President of the Medical Commission of the IHF

●委　　員　Prof.Dr.Hans Holdhaus, Austria, Director of IMSB

Pro.Dr.Severre Maehlum, Norway, Chief Medical Officer of NOC

Prof.Dr.Issei Nishiyama, Japan, President of Japan Sports Medical Committe

Dr.Mitsuru Sakaguchi, Japan, Vice President of the Kumamoto Orthopaedic Hospital

Dr.Shizuo Sakamoto, Japan, Div.of Sports Clinic for Health, Juntendo Univ.Urayasu Hospital

■実行委員会

●委 員 長　Dr.Gijis Langevoort

●副委員長　西山逸成

付表4

Letters/Lettres/Briefe
Postfach 312
CH-4020 Basel/Schweiz

Parcels/Colis/Pakete
Lange Gasse 10
CH-4052 Basel/Schweiz

Telefon
..41-61-2721300
Telefax
..41-61-2721344
Telex Schweiz
(045) 964150 (ihf ch)
Telegramme
Interhandball Basel

Bank
Schweizerische
Bankgesellschaft,
Basel
Konto Nr. 664.538.01 K

Internationale Handball Federation

International Handball Federation

Fédération Internationale de Handball

CERTIFICATE

認定書

This is to certify the participation of

Dr. ISSEI NISHIYAMA

in the LECTURES
of the 3rd Congress on
Sports Medicine and Handball,
Kumamoto City International Center, Japan
May 28-31, 1997

本状により、西山逸成殿が
１９９７年５月２８日から５月３１日まで
日本の熊本市国際交流会館で行われた
第３回スポーツ医学、ハンドボール
国際学会への講義に参加したことを
認定する。

Contents:
- Injuries in Handball
- Exercise Physiology
- Rehabilitation
- Prevention
- Women in Sport

内容：
- ハンドボールにおける傷害
- 運動生理学
- リハビリテーション
- 予防医学
- 女性のスポーツ

Gijs Langevoort, M.D.
Congress President
Gijs Langevoort

Issei Nishiyama, M.D.
Congress Vice-President
Issei Nishiyama

付表3

金曜日 朝日新聞

研究発表に対する質問も次々と出て議論は深まった＝熊本市花畑町の市国際交流会館で

スポーツ医学・ハンドボール国際学会

熊本市で始まる

傷害や練習などの研究発表

活発な論議を交わす

22カ国 70人参加

熊本市花畑町の市国際交流会館で二十九日から、ハンドボールに関係するスポーツ医師やトレーナーらが参加する「スポーツ医学・ハンドボール国際学会」が始まった。国際ハンドボール連盟医事委員会などの主催で、三十一日まで。

学会は一九九二年、ハンドボール選手のスポーツ傷害などの研究を討議して、傷害予防や技術力向上に役立てることを目的に始められた。世界規模の大会開催地で開かれており、九五年のオーストリアに続いて三回目。

この日は二十二カ国の約七十人が参加。参加者はハンドボール選手の傷害やトレーニング方法などについての研究を、図や表を使って発表。会場からは質問も次々と出されて活発な議論が交わされた。

学会のコーディネーターで、日本ハンドボール協会医科学委員会の西山逸成委員長は、「ハンドボールはハードコンタクトスポーツで傷害も多い。予防とリハビリの研究を進めることは、競技力向上につながるし、それは結果的にハンドボールのメジャー化にもつながる」と話している。

小さな町の大きな財産

企画・広報委員
早川　文司

素晴らしい話題を今回は紹介したい。ハンドボールにかける小さな町の大きな活性化事業といってもいいだろう。ハンドボールのメッカを自認する日本リーグの古豪・湧永製薬のおひざ元、広島県高田郡甲田町の取り組みだ。

この町は広島市から北東へ50キロ余り、人口約６千人。大河ドラマ「毛利元就」の生誕地の隣町。昨年のひろしま国体で少年男女の会場になったところだ。町ぐるみで選手・役員を受け入れ、交流の輪が広がり、住民は多くの感動を体験した。

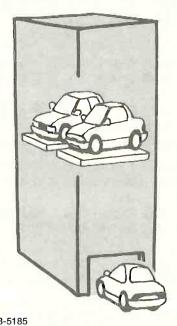
その感動が忘れられない住民から「ハンドボールの町をＰＲする催しをしよう」との声で開かれたのだが「甲田ＧＦＦカップ中学大会」だ。ＧＦＦとは、町おこしのキャッチフレーズ「緑（グリーン）・花（フラワー）・果実（フルーツ）」の英語の頭文字からとったもので、大会には地元の広島をはじめ、岡山、山口、四国・香川から男女各６チームが参加した。

今大会を前に地元協会を設立、父母や高校生のほか、広島県協会や湧永製薬の部員らが審判などで全面協力、湧永満之記念体育館とグラウンド２面を使い、２日間にわたってハンドボールの楽しさを満喫した。

ハンドボールを通して人との出会い、心のふれあい、そして友情の輪が広がった初の催しだったが、来年以降も「中学生」にこだわりをもって、さらに発展、充実させたいと意気込む地元の熱意は相当のもの。地元住民から自然発生的に沸き上がったパワーがうれしい。

熊本の世界選手権開催で盛り上がったハンドボール熱をいっそう後押しするにはもってこいの催しである。

活性化に頭を悩ませる日本協会は、こうした「ハンドボール町づくり」事業を積極的にバックアップしてはどうだろうか。産声を上げたばかりの地方発進の小さな芽ではあるが、こうしたイベントが各地で次々開けるように手助けすることによって、次第に大きなうねりとなり、全国隅々にハンドボールがしっかりと根づくことになるような気がする。小さな町の大きな財産づくりに、力を合わせて応援しようではないか。

フレンドシップ'97 協賛者名簿

フレンドシップ'97ご協賛ありがとうございます。
6月5日現在で1072名のご協賛をいただいております。以下にお名前を掲載し、感謝を表します。
協賛いただいた方には以下の記念品が増呈されます。

1. '97男子世界ハンドボール選手権大会・熊本記念特製テレホンカード
2. 世界選手権記念特集特別号

【北海道】

倉本 紘一
迫 茂
岡田 豊夫
村瀬 清史
加藤 勉
松崎 雅芳
田中 勇
柏崎 久子
清水 勝
駒林 昭三
三栖 雅之
小越 康雄
松 喜美夫
大橋 幹正
清水 幸彦
小林 礼
加藤 慶仁
萩原 英俊
高原 健
棚橋 伸男
佐藤 博明
宮崎 光市
高橋 義男
安藤 憲四郎
中村 崇
中島 元

【青森県】

太田 尚充
鳴海 満
川島 卯太郎
福士 義昭
渡辺 信行
滝口 太
諏訪 正徳
藤本 武
坪谷 雅幸
齋藤 浩
小川 清吉
久保 吉也
関本 和之
対馬 保子
平尾 和浩
長谷川 稲子
坂本 吉次
青森高校ハンドボール部

【岩手県】

佐藤 睦朗
太田 利彦
大澤 由和
谷藤 勝美
池口 杜孝
箱崎 敬吉
大志田 諭
佐藤 正一
北村 尚英
澤藤 稔
多田 和生

【宮城県】

千田 文彦
加藤 正彰
東北福祉大ハンドボール部
大河原 浩気
加藤 宏之
山路 康男
斎藤 節郎
菅間 進
相沢 義浩
堀籠 二郎
高橋 長偉
池田 加一
三浦 昇
佐藤 久

【秋田県】

阿部 建
小山田 富彦
石塚 俊子
今野 広一
藤原 久美子
澤瀬 仁美
梁田 忠男
沢井 春美
三浦 高子
佐藤 靖
鎌田 定明
豊島 慶男
長澤 養一
半田 忠
畠山 弘子
松橋 千秋
石橋 正勝
田口 純一
相川 綾子
野村 光正
加藤 時子
藤原 周悦
佐藤 進
菊地 良一
高山 重雄
三浦 冨美子
佐原 久
鈴木 崇
鈴木 環
伊藤 治彦
一関 敏彦
斎藤 将一郎
三浦 雄二

【山形県】

安孫子 功
五島 訓二
高橋 善浩
本堂 良寿
長南 他一
仙道 勝治
横尾 英嗣
星川 威雄
押切 朝吉
奥山 重雄
仁藤 清一
八代 一
山形南高校ハンド愛好会
小林 和子

【福島県】

中島 寿美
関川 正道
今野 雅益
佐藤 雄次
宗形 守敏
塩田 幸男
遠藤 通雄
森 功
柳沼 正義
佐藤 嘉重
鈴木 信夫
伊藤 友彦
岡部 新一郎
熊田 栄一
松本 清一
三浦 正和
田中 誠
最上 大
伊東 豊
菅野 正行
三瓶 昌久
村上 俊一
菱沼 一良
伏見 士郎
渡部 次郎
草野 立雄
加藤 岳郎
斎藤 仁宏
田口 侑義
上野 覚
笠原 高明
平川 憲甫
小針 三夫
佐川 昌嗣
根本 真
前川 秀道
斎藤 昌己
安部 信夫
穂積 清康
小沼 慶二
石井 義国
橋本 春二
遠藤 均
後藤 義信
伊藤 忠俊

【茨城県】

筑波大OG会
筑波大OB会
田中 汀子
小板橋 潤
北村 善夫
柏崎 茂
富田 拓
矢澤 達司
岡本 研二
大西 武三
麻生フェニックス
住尾 勉
大川 潤
吉地 正丈
砂長 誠
山内 孝雄
立原 定宗
大村 久
阿部 富夫
橋本 政孝
高野 実
大月 政明
笠間クラブ
塚田 芳明
会田 真一
鬼怒中学校ハンドボール部
玉造工業高ハンドボール部
水上 一
関根 邦夫
雨海 左武郎
細谷 安司
鈴木 均
住谷 稔
幡谷 祐一
吉地 かおり

【栃木県】

益子 房之助
大出 治男
岸 裕行
山下 勝司
高崎 弘
田澤 孝一
上野 喜美
小西 正寿
山岸 光子
中山 富夫
高橋 隆夫
細井 操
山下 勝俊
川田 雄三
伊藤 晋
武井 一浩
川又 克巳
住森 憲治
河先 修
菅間 一
阿部 徳之助
石田 正彦
日下部 高明
尾苗 裕美
新開 聖
駒場 和夫
大久保 清一

【群馬県】

伊崎 克巳
内藤 静子
斎藤 光男
越石 信次
永井 正
宇佐美 幸彦
小林 進
宮下 鎌治
高橋 潔
飯田 季信

【埼玉県】

井田 一博
井上 素行
藤間 純子
木野 実
岡村 昭二
佐藤 美由紀
入江 直子
萩原 初江
竹野 奉昭
塚田 咲枝
佐藤 道子
岡村 寿子
三浦 登志雄
佐々木 則子
高畠 和江
渡邉 直美
持田 マサ子
渡辺 叡子
松本 隆栄
杉本 友美子
土屋 勇太郎
高橋 衛
高橋 信子
玉田 和代
中村 恭子
中川 幸子
中野 ジュンコ
勝沼 由季
菅野 富夫
山本 興道
西山 逸成
岩本 明
勝倉 寅男
川畑 和司
篠江 裕
五十嵐 幸治
広瀬 喜代香
金 賢玉
金丸 淳子
船津 芽生子
川村 純子
後藤 恵理
佐々木 愛
永尾 倫子
鵜狩 恵美子
鎌田 香名子
佐久川 ひとみ
千葉 真紀
穂積 知紘
結城 香織
斎藤 幸司
小林 一夫
井上 友子
中村 甲治
福本 弘
中上 達生

【千葉県】

木内 兵太郎
木内 久美子
山上 修二郎
田村 幸雄
山本 伸二
内田 明克
氷海 正行
稲生 茂
松本 滋
仲田 稔
辻 祥雅
香取 秀紀
本間 誠章
上中 範子
河村 レイ子
清水 智功
五味 崇恵
河村 英明
聖徳大付中高ハンドボール部
植村 彰
柳田 睦子
三井 信
東根 明人
猪股 俊二
池田 安亘

山田いく子　永野幹雄　日根野寛　吉田茂　泉水孝浩

【東京都】

佐藤佳子　江成元伸　兼子真　高橋健夫　田島悦子　高橋英次　後藤登　市原則之　今井敏之　岩本任弘　大塚文雄　菅原恵子　栗岩淳一　匿名　佐々木博子　今井昭子　福地賢介　脇若正二　荒木茂徳　藤原侑　飯塚政子　中澤重夫　佐藤明美　滝口三郎　小松正武　中嶋治美　羽田裕一　門井隆治　矢島雅明　国立高校ハンドボール部　本多正樹　佼成学園女子高ハンド部　齋藤博　落合由津子

佐野和夫　駒大ハンドボールOG会　高橋由紀子　村野静子　堀江成典　碓井裕史　永田淳子　安藤純光　石河廣安　丹野純一　近藤金博　勝繁夫　兼田佳博　今井善洋　加藤祐策　岩佐又次　水越元子　川上整司　大野金一　渡辺慶寿　寺田由紀子　太田衆一郎　花野誠一　細木建夫　綿貫敏雄　綿貫紀子　川口定男　東京経済大ハンドボール部　下村亘　張生　塩川安賢　小泉功　豊田直平　東京工専ハンドボール部OB会　世田工送球会　関和生　石井義久　緑川正博　原信雄　小峰一晃

エモックエンタープライズ　橋本永治　東京学芸大学男子ハンドボール部　川崎保之　横田和夫　中村キングクラブ　野村進　新家谷隆男　河内鋭雄　神津信一　上原信子　佐藤和孝　専大付高校ハンドボール部　匿名　三沢澄　福井久子　昭和薬科大学ハンドボール部　青木薫　近森克彦　関健三　田口長雄　田中茂　砂川正雄　三陽商会ハンドボール部　稲垣雅彦　高橋俊夫

【神奈川県】

真田元　村松英美　近久紀人　松井正敏　大城和彦　神尾陽子　川村久子　山田啓太　西本千賀子　玉井晴雄

澁谷正道　新井千鶴子　齋藤達也　佐分正典　村松誠　植村繁　若崎重武　南木雅弘　大東秀明　上林正明　斎藤慎太郎　近藤正栄　三浦公　財部重彦　若月博　黒澤邦夫　堀越進　中村吉宏　森川利昭　宮原藤支男　海保和夫　栗城紘一郎　池田茂郎　山田哲雄　渡辺靖弘　川辺孝夫　小見幸男

【山梨県】

千野恒夫　清水正　植野保　清水剛　齋藤実　栗原富貴子　三枝慶彦　窪田善文　平岡秀雄　輿石順一　手塚寿郎　市瀬公敬　窪田正典　菊島哲也

天川正次　小池道春　塩山ハンドスポーツ少年団　雨宮義利

【新潟県】

小松原金二　大矢三郎　ホテル新潟　高橋保

【長野県】

青木崇　加藤雅之　中澤文子　中澤正巳　手塚伸　服部博幸　春原紘一　中村栄孝　望月豊　岩下道範　名取守二郎　井出正一　油井孝一郎　竹内佳明　桜井重治

【富山県】

沢井淳一　嶋田重春　中川周三　山口吉弘　吉水慎一　嶋田新太郎　徳前哲人　金原至　大谷正則　村岸治幸　中山圭三　金明恵　木下晴雄

飯山進　宮崎恒　小川郷太郎

【石川県】

二口昭夫　米谷恒洋　荷川取義浩　川端孝一　牧浩二　古橋幹夫　酒谷信彦　曽谷外茂雄　八日市屋進　安部羅大造　浜野大助　北岡克彦　井川邦彦　高体連ハンドボール部　北川昭栄　寺垣俊彦

【福井県】

越田義昭　志々場修二　藤井善彦　竹野誠司　中村勝司　庄司勝三　竹野秀輝　㈱フクセン　武生東高ハンドボール部　福井商校ハンドボール部　東哲郎　今村豊　稲崎博行　朝賀博美

【静岡県】

鈴木義紀

片瀬喜代次　田中弘子　清水保雄　稲森照男　斎藤多　坪内伸浩　栗山聡　寺田嘉一　細沢覚　佐塚浩徳　石川直樹　高橋久仁和　仲山靭恵　内藤岳

【愛知県】

中島正貴　宇津野年一　早川弘三　村木啓作　角紘昭　梅村忠雄　早川真澄　横地宇吉　稲石三二　新井友彦　鳥居晴久　浅野克彦　栗脇凝　矢野哲二　小野正雄　彌津行雄　野田清　柳川清　藤中憲二　花輪博　柳川実　中本満明　蒲生晴明　清崎隆　林浩司　佐藤光夫　土川一樹

中本千和紀　名取和成　森山稔　富石淳　田中保彦　高村誠一　内藤浩樹　林康一　林珍錫　末岡政広　佐藤壮一郎　秋吉哲男　植木寿憲　濱野健一　阿萬隆文　藤井孝志　酒勾康二　米倉巧　荻本将勝　清水博之　冨本栄次　松本光則　柴田大介　日原一幸　中谷友和　南川裕隆　金子尚司　笹西直大　和田宏治　稲生嘉宏　村松清　溝口博一　市川修　小林きよみ　小林まきすみ　吉金勇　松原英司　河合龍二　神尾心一　山田透　平松学　山田幸男　河合千丈

太田耕治　伊藤和夫　正色スポーツ少年団　西川勤也　山崎正利　河合弘　宇栄原幸政　稲住晋二　日比登史男　鈴木淳藏　渡辺貞彦　川島克之　杉村正一　久本直明　岡崎直哉　難波興治

【三重県】

笹川ハンドボール少年団　栗本士郎　田村金子　田口隆　鈴木義男　石井勝　山村敏之　藤井孝一　橋本行弘　木下憲司　高木俊明　弥吉圭一　丹羽昭文　後藤信幸　茅場清　長谷川貴洋　谷村貴郎　加藤圭介　笹浪重俊　広政宜孝　平松茂雄　松原晋哉　中里賢二

四方篤　日原正和　新實俊夫　平賀達也　西村仁志　夏目真治　松岡富夫　ホンダクラブ

【岐阜県】

斎藤和義　福田直行　森川俊章　杉本真一　大洞五十七　上野毅　加藤隆広　今井田康雄　上妻忠夫　峰岸正之　豊島康彰　古宮山喜邦　吉田元　鈴木義久　中島康

【滋賀県】

北川裕之　尾本和男　秋永昭治　佃幸太郎　清水哲哉

【京都府】

審　愛玲　吉田博二　杉本洋一　小西博喜　藤本昇　西田充　橋本善次　山中昭治郎　堀田靖人

西村 成晴
岸本 光夫
林 ひとみ
中森 雅彦

【大阪府】
東 嘉伸
服部 秀人
四方 洋子
森本 正毅
望月 伸三郎
緒方 嗣雄
小森園 多恵子
山中 善之祐
幸田 良一
塩川 正十郎
神田 清
井上 真也
戸田 栄一
村田 弘
花畑 平男
松尾 信一郎
北岡 大覚
家永 昌樹
久保 義雄
木田 武夫
岩佐 邦彦
繁田 順子
渡邊 巌
吉田 正明
佐谷 光一
浅井 隆志
吉田 敏明
吉澤 力男
近藤 善重
福島 富造
寺内 哲之
村上 善英
浅井 安子
宍倉 保雄
光島 磯雄
村尾 亮
山崎 武

近畿高体連ハンドボール部
土井 秀和
榎原 嘉之
中出 盛雄
山田 稔
高橋 精一
志賀 良弘
大林 欣子
辻本 孝仁

【兵庫県】
西澤 倫雄
殿水 幸雄
長 靖磨
大原 康昇
小島 正男
花房 保
岡田 茂夫
丸茂 康子
北山 隆
藤原 豊
村上 潔
浜田 浩嗣
泉 滋
山中 正俊
樫塚 正一
早川 清孝
石井 信行
馬場 保夫
島崎 政治
狩野 幸介
幸田 末之
柿木 国夫
坂本 敏雄
井上 亮一
荻田 勝紀
植村 彦一郎
木田 武夫

【奈良県】
中川 敏文
西村 佳千

中井 公人
佐々木 英明
中畑 明郎
谷村 竜太郎
有永 修二

【和歌山県】
笠中 喜次
尾高 義彦
能木 進
山田 進
串野 寛
田中 秀和
熊井 利夫
上野 昌之

【鳥取県】
松原 紀機
石黒 豊
里 和則
高木 敏行
浜口 彰
小澤 敏正
松本 吉司
明穂 光也
早田 博之
稲葉 昌治
田中 宏明
望月 裕之
森脇 要
木田 慎介
森本 泰夫
足立 晴夫
吉田 達明
鳥取県高体連

【島根県】
宇津 徹男
斎藤 隆
船江 昭光
中西 磊
県ハンドボール協会

都志見 朋子

【岡山県】
藤井 俊朗
森安 昭雄
浅香 又彦
小嵐 昭子
中山 学
片山 透
大熨 嘉彦
黒住 宗晴
山下 知巳
倉敷工業高校
永井 忠和

【広島県】
峠野 光伸
浜本 忠志
坪根 敏宏
加川 厚
杉山 裕一
小沢 勝利
山口 修
松谷 丈裕
飯田 一郎
高田 浩志
中山 剛
田中 雅彦
多田 恵久
松本 暢
B.R.BRAMANS
堀田 敬章
河原 隆雅
藤永 清
津川 昭
戸田 政弘
藤本 康生
井藤 英忠
楢原 隆雄
奥田 新治
玉村 健次
長沢 純平
酒巻 清治

西元 義昭
福岡 篤紀
山下 泉
不破 亨
草井 由博
スタンド・レモン
槙岡 辰男
奥川 和永
東 昌弘
山西 泰明
高西 宏昌
平田 幸男
片岡 賢司
塩見 博
小林 能治
日野 栄二
穴井 秀徳
野中 宏洋
冨松 宏一郎
堀田 幸夫
鮎沢 潤
貝田 良寛
三浦 孝
木村 信弥
角谷 裕司
林原 洋仁
泉 喜久男
宇田川 竜也
水谷 和嘉
伊藤 豊
西山 清
源内 利之
坂口 俊幸
楠原 誠吾
湯中 勝
林 昌英
原 康司
花本 大輔
岩西 正憲
中本 成基

【山口県】
白井 謙次

飯田 弘昌
岡井 幸由
青木 操
山根 安彦
明石 雄次
増田 雅夫
宮崎 太郎
古富 博
守田 政生
藤井 拓生
明石 英利
藤井 真
山上 雅弘
溝部 弥三郎
常田 隆
中村 時雄
柳井 文治
田原 正美
大片 恵美子
原井 進
角 直樹
加藤 晃

【香川県】
楠原 敏明
大谷 和彦
小早川 道孝
藤沢 秋義
佐藤 昌弘
松原 忠
県ハンドボール協会
横山 和司
上濱 清司
香川選抜チーム
末澤 光夫
河合 哲
片岡 幸夫
亀井 好弘
大林 一友

【徳島県】
半田 忠史

川島 文代
三谷 昭丈
前田 誠之助
青木 隆章
長尾 輝夫
東藤 敬
佐藤 公美
浜田 浩之
高体連
中体連
小体連

【愛媛県】
越智 武
河本 武夫
野中 聰
伊藤 演哉
高橋 満年
毛利 尊志
長野 真太郎
大亀 裕
正岡 勝英
川田 哲也
竹村 久晴
松原 久士
松原 誠起
佐藤 実
山崎 幸夫
田中 達男
堺 賢治
今井 茂宏
森田 政志
越智 紀子
矢野 龍一
武智 誠治
真木 崇
松浦 美香
石川 達也
上野 裕司
守口 公三

【高知県】
岡本 憲和

岡村 博三
清水 修
熊沢 徹郎
川崎 英雄
片岡 修一
高橋 良忠
青木 啓司
武田 末男
沢田 哲雄
有光 正憲
井上 敏
高橋 卓也
葛目 憲昭
佐賀 厚幸
谷脇 敦
成岡 真
南クラブ
高知南高男子ハンドボール部
高知南高女子ハンドボール部
岡豊高男子ハンドボール部
岡豊高女子ハンドボール部
小松 和久
宮崎 光一
高野 卓悦
中川 利彦
高知東高ハンドボール部

【福岡県】
田中 守
松本 浩志
古賀 信男
稲積 茂紀
篠崎 省吾
森山 正治
中西 敬一
中川 英二
大場 正志
新荘 悌男

和佐野 健吾
森川 嘉人
日野 祐一郎
佐伯 紘一
冨重 真晴

【佐賀県】
土井 坦
佐賀農業高ハンドボール部
高木 健恵
吉田 和治
貞島 早苗
甲斐 忠義
久保田 秀光
松尾 嘉信
中園 嘉彦
水田 正文
小柳 正信
龍登園

【長崎県】
石井 道義
原田 国男
池田 寅勝
今村 豊嗣
海自佐世保地方隊
新井 善文
諫早乳業株式会社
和田 旬功
林 信義
河田 誠
山川 周二
県ハンドボール協会
市ハンドボール協会
浅田 五郎
末次 功
青井 正弘

【熊本県】
熊本クラブ

村上 建二
高田 憲之
矢住 嘉孝
横山 紘二郎
大島 隆志
井手 和洋
井 薫
西窪 勝広

【大分県】
疋田 忠
横瀬西ハンドボールクラブ
生野 彰雄
佐藤 喜一
川西 良廣
福田 稔

【宮崎県】
坂本 平
宮元 章次
佐藤 一一
堀之内 真澄
末廣 芳文

【鹿児島県】
井料 たか子
本田 娟一
蒲山 尚志
谷川 洋造
岡山 明弘
近藤 實
西花 文雄
山崎 千加子
奥山 誠恒

【沖縄県】
荷川取 孝志
新垣 健
嘉陽 宗陰
東恩納 盛英
佐久本 浮
黒島 宣昭

平成9年度全国高等学校総合体育大会

高松宮賜杯　第48回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

各地学生春季リーグ戦

●北海道学生春季リーグ

■男子1部

函大 41－10 函教大
道都大 37－29 樽商大
北大 39－17 函教大
函大 37－25 札大
道都大 44－9 函教大
函大 44－24 樽商大
道都大 31－21 札大
北大 35－29 樽商大
札大 29－21 樽商大
函大 39－7 北大
札大 26－18 函教大
道都大 34－12 北大
樽商大 29－17 函教大
札大 24－16 北大
函大 27－16 道都大

［順位］
①函館大学
②道都大学
③札幌大学
④北海道大学
⑤小樽商科大学
⑥北海道教育大学函館校

［最優秀選手］
石川浩之（函館大）

［優秀選手］
奥野誠（函館大）
片岡達也（函館大）
進藤祐一（函館大）
渡部祐介（道都大）
山中昭人（道都大）
根岸克明（道都大）

［得点王］
進藤祐一（函館大）［47点］

■男子2部

学園大 45－20 道工大
北工大 35－25 室工大
北工大 34－23 帯畜大
室工大 28－25 釧公大
北工大 33－27 学園大
室工大 47－19 道工大
帯畜大 32－18 道工大
学園大 30－30 釧公大
室工大 27－13 帯畜大
学園大 30－12 帯畜大
釧公大 49－23 道工大
北工大 37－24 釧公大
北工大 40－25 道工大
釧公大 28－25 帯畜大
学園大 29－12 室工大

［順位］
①北見工業大学
②北海学園大学
③室蘭工業大学
④釧路公立大学
⑤帯広畜産大学
⑥北海道工業大学

■男子3部

旭教大 20－19 札学大
北星大 25－24 酪農大
旭教大 22－16 北星大
酪農大 21－16 札学大
酪農大 18－14 旭教大
北星大 24－16 札学大

［順位］
①酪農学園大学
②北海道教育大学旭川校
③北星学園大学
④札幌学院大学
＊1位～3位は得失点差による

■男子4部

旭大 25－24 釧教大
旭大 25－20 北医大
北医大 17－16 釧教大
旭大 20－11 北医大
旭大 20－10 釧教大
釧教大 24－15 北医大

［順位］
①旭川大学
②北海道教育大学釧路校
③北海道大学医学部
（北海学園北見大は不参加）

■女子

道女大 55－4 北大
旭教大 32－12 北星大
酪農大 16－4 北大
旭教大 12－9 酪農大
旭教大 37－6 北大
道女大 19－10 酪農大
道女大 32－16 北星大
北大 12－10 北星大
道女大 19－16 旭教大
北星大 4－8 酪農大

［順位］
①北海道女子大学
②北海道教育大学旭川校
③酪農学園大学
④北海道大学
⑤北星学園大学

［優秀選手］
長岡美香（北海道女子大）

［得点王］
昆野睦子（北海道女子大）［41点］

●東北学生春季リーグ

■男子1部

仙台大 23－18 東北学院大
仙台大 21－17 福島大
仙台大 26－18 秋田大
仙台大 36－16 岩手大
東北福祉大 18－17 仙台大
東北福祉大 24－14 東北学院大
東北福祉大 26－13 福島大
東北福祉大 28－13 秋田大
東北福祉大 36－23 岩手大
東北学院大 26－21 福島大
東北学院大 30－18 秋田大
東北学院大 33－18 岩手大
福島大 17－16 秋田大
秋田大 19－21 岩手大
岩手大 19－15 福島大

［順位］
①東北福祉大学
②仙台大学
③東北学院大学
④福島大学
⑤秋田大学
⑥岩手大学
＊4位～6位は得失点差による

［ベストセブン］
GK 阿部浩之（東北福祉大）
CP 田中洋平（東北福祉大）
CP 茅場智之（東北福祉大）
CP 加藤琢磨（仙台大）
CP 深沢智明（仙台大）
CP 服部悦郎（東北学院大）
CP 管野良樹（福島大）

［得点王］
鈴木琢也（東北学院大）［23点］

■男子2部

東北大 22－18 山形大
東北大 32－11 東北工業大
東北大 21－14 北里大獣医
東北大 36－9 盛岡大
東北大 27－15 学院大工学
山形大 26－19 東北工業大
山形大 22－15 北里大獣医
山形大 40－20 盛岡大
山形大 24－12 学院大工学
東北工業大 25－19 北里大獣医
東北工業大 29－19 盛岡大
東北工業大 16－15 学院大工学
北里大獣医 14－13 学院大工学
北里大獣医 22－14 盛岡大
学院大工学 23－12 盛岡大

［順位］
①東北大学
②山形大学
③東北工業大学
④北里大学獣医
⑤東北学院大学工学部
⑥盛岡大学

■男子3部

弘前大 29－20 宮城教育大
弘前大 32－10 八戸工業大
弘前大 32－16 日大工学部
弘前大 20－5 北里大水産
弘前大 33－11 奥羽大
宮城教育大 29－25 八戸工業大
宮城教育大 28－11 日大工学部
宮城教育大 19－14 北里大水産
宮城教育大 36－10 奥羽大
北陸大水産 15－14 八戸工業大
北陸大水産 21－15 日大工学部
北陸大水産 15－15 奥羽大
日大工学部 24－17 八戸工業大
日大工学部 17－17 奥羽大
八戸工業大 26－16 奥羽大

［順位］
①弘前大学
②宮城教育大学
③北里大学水産学部
④日本大学工学部
⑤八戸工業大学
⑥奥羽大学

■女子Aリーグ

東北福祉大 37－12 秋田大
東北福祉大 22－4 岩手大
東北福祉大 32－6 宮城教育大
秋田大 13－5 岩手大
秋田大 20－8 宮城教育大
岩手大 6－6 宮城教育大

［順位］
①東北福祉大学
②秋田大学
③岩手大学
④宮城教育大学

［ベストセブン］
GK 益子祐恵（東北福祉大）
CP 石川和美（東北福祉大）
CP 石津谷香織（東北福祉大）
CP 藤山円（東北福祉大）
CP 佐藤真城子（秋田大）
CP 小山多佳子（秋田大）
CP 福士由美（岩手大）

［得点王］
早川めぐみ（東北福祉大）［21点］

■女子Bリーグ

仙台大 35－11 福島大
仙台大 35－8 福島大
仙台大 36－5 奥羽大
仙台大 42－3 奥羽大
福島大 27－14 奥羽大
福島大 23－14 奥羽大

［順位］
①仙台大学
②福島大学
③奥羽大学

●関東学生春季リーグ

■男子1部

早稲田大 23-13 東海大
順天堂大 30-26 日本体育大
中央大 32-19 日本大
国士舘大 19-17 筑波大
日本体育大 23-22 東海大
早稲田大 23-21 順天堂大
筑波大 23-18 日本大
中央大 26-21 国士舘大
中央大 23-21 東海大
筑波大 27-25 順天堂大
早稲田大 28-17 日本大
国士舘大 21-20 日本大
早稲田大 23-20 国士舘大
筑波大 25-20 東海大
中央大 30-29 順天堂大
日本体育大 28-23 日本大
順天堂大 20-15 日本大
東海大 16-13 国士舘大
日本体育大 31-24 中央大
早稲田大 34-24 筑波大
東海大 20-19 日本大
順天堂大 24-18 国士舘大
早稲田大 27-21 中央大
日本体育大 28-26 筑波大
順天堂大 29-17 東海大
国士舘大 18-18 日本大
筑波大 30-19 中央大
早稲田大 29-24 日本体育大

[順位]
①早稲田大学
②順天堂大学
③筑波大学
④日本体育大学
⑤中央大学
⑥国士舘大学
⑦東海大学
⑧日本大学

[得点王]
小川友康(筑波大)[59点]

■男子2部

国際武道大 28-19 青山学院大
拓殖大 34-15 東京学芸大
慶応大 25-23 明治大
法政大 24-12 専修大
法政大 33-22 青山学院大
拓殖大 24-22 慶應大
国際武道大 32-25 専修大
明治大 38-19 東京学芸大
明治大 33-26 青山学院大
慶應大 28-24 国際武道大
拓殖大 34-20 専修大
法政大 30-15 東京学芸大
国際武道大 25-22 東京学芸大
法政大 34-18 慶應大
拓殖大 37-23 青山学院大
明治大 31-19 専修大
拓殖大 32-19 国際武道大
法政大 32-19 明治大
慶應大 33-16 専修大
東京学芸大 22-22 青山学院大
東京学芸大 23-17 専修大
慶應大 26-23 青山学院大
国際武道大 27-24 明治大
法政大 23-16 拓殖大
青山学院大 37-30 専修大
慶応大 30-22 東京学芸大
拓殖大 38-28 明治大
法政大 28-22 国際武道大

[順位]
①法政大学
②拓殖大学
③慶応大学
④国際武道大学
⑤明治大学
⑥青山学院大学
⑦東京学芸大学
⑧専修大学

■男子3部

神奈川大 棄権 横浜商科大
東京理科大 32-19 明星大
東京大 22-21 横浜国立大
武蔵工業大 24-24 茨城大
東京理科大 29-26 横浜国立大
横浜商科大 30-14 武蔵工業大
東京大 37-21 明星大
茨城大 33-21 神奈川大
武蔵工業大 27-22 明星大
横浜国立大 27-22 神奈川大
横浜商科大 26-22 東京大
茨城大 34-27 東京理科大
神奈川大 35-29 明星大
横浜商科大 33-20 東京理科大
横浜国立大 26-22 武蔵工業大
茨城大 27-26 東京大
神奈川大 26-25 東京理科大
横浜商科大 37-22 明星大
東京大 29-22 武蔵工業大
茨城大 34-25 横浜国立大
武蔵工業大 25-22 東京理科大
神奈川大 23-22 東京大
横浜国立大 31-29 横浜商科大
茨城大 34-19 明星大
東京大 30-19 東京理科大
明星大 35-29 横浜国立大
武蔵工業大 25-21 神奈川大
横浜商科大 24-23 茨城大

[順位]
①茨城大学
②横浜商科大学
③東京大学
④神奈川大学
⑤武蔵工業大学
⑥横浜国立大学
⑦東京理科大学
⑧明星大学

■男子4部

芝浦工業大 20-19 東京経済大
大東文化大 29-18 一橋大
立教大 29-17 産能大
千葉大 20-13 上智大
一橋大 21-21 上智大
立教大 25-23 芝浦工業大
大東文化大 32-17 千葉大
東京経済大 28-18 産能大
東京経済大 19-18 一橋大
立教大 27-23 千葉大
上智大 21-18 産能大
大東文化大 29-29 芝浦工業大
立教大 27-18 一橋大
大東文化大 26-25 産能大
上智大 23-22 芝浦工業大
東京経済大 24-17 千葉大
東京経済大 31-16 上智大
産能大 28-25 一橋大
立教大 23-22 大東文化大
芝浦工業大 24-21 千葉大
産能大 20-16 千葉大
大東文化大 32-28 東京経済大
一橋大 20-20 芝浦工業大
立教大 16-9 上智大
大東文化大 35-23 上智大
千葉大 20-19 一橋大
立教大 26-16 東京経済大
芝浦工業大 22-21 産能大

[順位]
①立教大学
②大東文化大学
③東京経済大学
④芝浦工業大学
⑤上智大学
⑥産能大学
⑦千葉大学
⑧一橋大学

■男子5部

創価大 26-25 東洋大
帝京大 23-22 東京都立大
成蹊大 28-9 横浜市立大
明治学院大 22-18 東京農業大
明治学院大 26-20 創価大
成蹊大 24-23 帝京大
東洋大 31-18 東京農業大
東京都立大 32-15 横浜市立大
創価大 38-18 東京農業大
明治学院大 29-16 横浜市立大
帝京大 21-20 東洋大
成蹊大 37-29 東京都立大
創価大 40-22 東京都立大
明治学院大 23-22 東洋大
帝京大 34-18 横浜市立大
東京農業大 30-30 成蹊大
創価大 33-10 横浜市立大
明治学院大 28-28 東京都立大
東京農業大 24-23 帝京大
東洋大 28-24 成蹊大
創価大 29-28 成蹊大
東京農業大 28-21 東京都立大
東洋大 33-16 横浜市立大
明治学院大 25-20 帝京大
帝京大 26-25 創価大
東洋大 28-28 東京都立大
成蹊大 37-31 明治学院大
東京農業大 30-24 横浜市立大

[順位]
①明治学院大学
②創価大学
③成蹊大学
④帝京大学
⑤東洋大学
⑥東京農業大学
⑦東京都立大学
⑧横浜市立大学

■男子6部

東京農工大 棄権 亜細亜大
杏林大 33-11 防衛大
東京工業大 43-11 千葉工業大
駒沢大 20-19 都留文化大
東京工業大 28-15 防衛大
杏林大 33-15 亜細亜大
東京農工大 22-19 都留文化大
駒沢大 27-14 千葉工業大
東京工業大 41-15 亜細亜大
防衛大 19-19 駒沢大
東京農工大 33-15 千葉工業大
杏林大 22-20 都留文化大
東京農工大 棄権 防衛大
駒沢大 17-9 亜細亜大
東京工業大 20-15 都留文化大
杏林大 42-17 千葉工業大
駒沢大 24-19 東京工業大
杏林大 23-17 東京農工大
防衛大 24-20 千葉工業大
都留文化大 25-14 亜細亜大
杏林大 30-22 駒沢大
亜細亜大 23-22 防衛大
東京工業大 22-19 東京農工大
都留文化大 32-7 千葉工業大
杏林大 27-24 東京工業大
駒沢大 22-19 東京農工大
亜細亜大 20-18 千葉工業大
都留文化大 28-26 防衛大

[順位]
①杏林大学
②駒沢大学
③東京工業大学
④東京農工大学
⑤都留文化大学
⑥亜細亜大学
⑦防衛大学
⑧千葉工業大学

■男子7部

山梨大 17-15 獨協大
群馬大 34-5 駿河大
文教大 32-20 國學院大
学習院大 33-28 工芸大
獨協大 28-17 駿河大
群馬大 31-17 山梨大
学習院大 30-18 國學院大
工芸大 27-26 文教大
群馬大 29-23 獨協大
山梨大 33-12 駿河大
工芸大 31-23 國學院大
学習院大 27-20 文教大
國學院大 25-23 獨協大
山梨大 34-24 文教大

学習院大 42－20 駿河大
群馬大 30－28 工芸大
獨協大 26－14 文教大
山梨大 33－18 國學院大
工芸大 36－15 駿河大
群馬大 30－22 学習院大
学習院大 28－13 獨協大
山梨大 28－22 工芸大
國學院大 37－12 駿河大
群馬大 33－26 文教大
工芸大 24－22 獨協大
学習院大 23－21 山梨大
文教大 40－27 駿河大
群馬大 32－21 國學院大

【順位】
①群馬大学
②学習院大学
③山梨大学
④工芸大学
⑤獨協大学
⑥文教大学
⑦國學院大学
⑧駿河大学

■男子8部A
武蔵大 31－14 平成大
玉川大 27－19 日本工業大
武蔵大 21－17 玉川大
武蔵大 30－21 日本工業大

■男子8部B
昭和薬科大 22－19 北里大
宇都宮大 16－16 山梨学院大
埼玉大 23－13 昭和薬科大
山梨学院大 27－8 北里大
山梨学院大 20－14 昭和薬科大
埼玉大 38－14 北里大
宇都宮大 27－17 昭和薬科大
宇都宮大 29－25 埼玉大
宇都宮大 29－8 北里大
山梨学院大 20－16 埼玉大

【順位】
①宇都宮大学
②山梨学院大学
③埼玉大学
④昭和薬科大学
⑤北里大学

■女子1部
日本体育大 28－19 日女体大
筑波大 22－17 茨城大
東女体大 36－11 東海大
日本体育大 25－18 日女体大
筑波大 29－14 茨城大
東女体大 37－18 東海大
日本体育大 33－15 東海大
東女体大 33－13 茨城大
日本体育大 25－14 日女体大
筑波大 28－17 東海大
東女体大 32－13 茨城大
筑波大 28－18 日女体大
茨城大 16－12 東海大
東女体大 35－13 日女体大
日本体育大 21－18 筑波大
茨城大 19－14 東海大
東女体大 31－16 日女体大
日本体育大 23－21 筑波大
茨城大 26－18 日女体大
筑波大 23－13 東海大
東女体大 28－26 日本体育大
茨城大 20－17 日女体大
筑波大 31－13 東海大
東女体大 28－25 日本体育大
日女体大 21－16 東海大
日本体育大 29－22 茨城大
東女体大 24－19 筑波大
日女体大 23－19 東海大
日本体育大 23－15 茨城大
東女体大 23－17 筑波大

【順位】
①東京女子体育大学
②日本体育大学
③筑波大学
④茨城大学
⑤日本女子体育大学
⑥東海大学

【得点王】
児島　愛（東京女子体育大）［71点］

■女子2部A
順天堂大 20－7 玉川大
国士舘大 54－8 都留文化大
東京学芸大 38－12 千葉大
聖徳大 36－10 東京理科大
国士舘大 35－11 東京理科大
聖徳大 44－8 都留文化大
東京学芸大 25－14 順天堂大
玉川大 29－9 千葉大
国士舘大 40－0 玉川大
聖徳大 22－21 東京学芸大
順天堂大 31－6 都留文化大
東京理科大 26－11 千葉大
聖徳大 21－11 順天堂大
東京学芸大 42－23 都留文化大
国士舘大 71－8 千葉大
玉川大 29－23 東京理科大
聖徳大 51－5 千葉大
国士舘大 29－4 順天堂大
東京学芸大 33－19 東京理科大
玉川大 29－20 都留文化大
聖徳大 30－7 玉川大
順天堂大 23－9 東京理科大
都留文化大 24－15 千葉大
国士舘大 33－15 東京学芸大
東京理科大 35－21 都留文化大
順天堂大 45－5 千葉大
東京学芸大 39－20 玉川大
国士舘大 22－12 聖徳大

【順位】
①国士舘大学
②聖徳大学
③東京学芸大学
④順天堂大学
⑤玉川大学
⑥東京理科大学
⑦都留文化大学
⑧千葉大学

■女子2部B
昭和薬科大 21－8 東京医科大
千明短大 19－15 大東文化大
昭和薬科大 6－5 大東文化大
千明短大 31－13 東京医科大
大東文化大 26－6 東京医科大
千明短大 19－10 昭和薬科大
昭和薬科大 16－2 東京医科大
千明短大 23－19 大東文化大
昭和薬科大 13－9 大東文化大
千明短大 46－9 東京医科大
大東文化大 27－6 東京医科大
千明短大 27－11 昭和薬科大

【順位】
①千葉明徳短期大学
②昭和薬科大学
③大東文化大学
④東京医科大学

●北信越学生春季リーグ

■男子1部
新潟大 22－21 金沢工大
新潟大 34－22 長野大
新潟大 25－15 金沢大
新潟大 30－13 福井大
金沢工大 28－11 長野大
金沢工大 23－9 金沢大
金沢工大 32－11 福井大
長野大 18－14 金沢大
長野大 22－21 福井大
金沢大 27－13 福井大

【順位】
①新潟大学
②金沢工業大学
③長野大学
④金沢大学
⑤福井大学

■男子2部
信州大 19－11 富山大
信州大 24－12 富山医薬大
信州大 25－15 北陸大
信州大 26－9 上越教育大
富山大 22－14 富山医薬大
富山大 27－19 北陸大
富山大 33－14 上越教育大
富山医薬大 18－14 北陸大
富山医薬大 23－4 上越教育大
北陸大 24－14 上越教育大

【順位】
①信州大学
②富山大学
③富山医薬大学
④北陸大学
⑤上越教育大学

■女子
金沢大 25－19 新潟大
金沢大 23－15 仁愛短大
金沢大 28－9 富山大
新潟大 19－17 仁愛短大
新潟大 17－11 富山大
仁愛短大 18－15 富山大

【順位】
①金沢大学
②新潟大学
③仁愛短期大学
④富山大学

●東海学生春季リーグ

■男子1部
中京大 26－19 名学院
名城大 31－14 愛知大
愛教大 30－16 南山大
中部大 25－24 愛学院
名城大 30－8 南山大
愛学院 24－21 愛教大
中部大 29－22 名学院
中京大 28－23 愛知大
中京大 29－18 南山大
中部大 35－18 愛知大
愛教大 25－19 名学院
名城大 27－26 愛学院
中部大 33－18 南山大
中京大 28－25 愛学院
名城大 31－15 名学院
愛教大 29－23 愛知大
愛学院 28－16 名学院
愛知大 30－16 南山大
中京大 26－31 中部大
名城大 35－17 愛教大
南山大 24－20 名学院
愛学院 29－23 愛知大
名城大 28－19 中部大
中京大 25－25 愛教大
愛知大 28－21 名学院
愛学院 28－21 南山大
愛教大 28－26 中部大
名城大 36－17 中京大

【順位】
①名城大学
②中部大学
③愛知教育大学
④中京大学
⑤愛知学院大学
⑥愛知大学
⑦南山大学
⑧名古屋学院大学

【最優秀選手】
宮城徳隆（名城大）

【ベストセブン】
GK 阿部文雄（名城大）
CP 北出圭祐（名城大）
CP 本多智幸（名城大）
CP 村中泰行（中部大）
CP 街道　功（中部大）
CP 吉田貴之（愛教大）
CP 中谷昌和（中京大）

【敢闘賞】

後藤祥仁（愛学院）

【得点王】

上原 昇（中部大）

■男子2部

岐阜大 23-18 名経大
静岡大 28-20 名商大
名大 35-9 名工大
岐阜大 33-19 名工大
名経大 26-22 静岡大
名大 42-10 名商大
岐阜大 24-20 静岡大
名大 30-11 名経大
名工大 30-13 名商大
名大 20-17 岐阜大
名経大 31-19 名商大
名工大 23-21 静岡大
名経大 25-14 名工大
岐阜大 32-17 名商大
名大 33-14 静岡大

【順位】

①名古屋大学
②岐阜大学
③名古屋経済大学
④名古屋工業大学
⑤静岡大学
⑥名古屋商科大学

■男子3部

岐経大 19-17 滋賀大
朝日大 31-9 日福大
豊技大 20-16 東海大
東海大 27-25 滋賀大
朝日大 27-10 豊技大
滋賀大 23-21 日福大
豊技大 28-22 岐経大
朝日大 32-21 東海大
岐経大 18-18 日福大
朝日大 31-13 滋賀大
岐経大 29-21 東海大
日福大 25-22 豊技大
豊技大 22-20 滋賀大
朝日大 24-18 岐経大
日福大 25-23 東海大

【順位】

①朝日大学
②豊橋技術科学大学
③岐阜経済大学
④日本福祉大学
⑤滋賀大学

⑥東海大学海洋学部

■男子4部

三重大 26-21 愛医大
豊高専 棄権 皇学大
東海学 32-16 常葉大
学泉大 26-17 岐教大
豊高専 25-10 常葉大
東海学 20-15 学泉大
岐教大 31-19 愛医大
三重大 34-9 皇学大
東海学 29-12 愛医大
岐教大 44-9 皇学大
常葉大 16-13 三重大
豊高専 30-11 学泉大
豊高専 24-17 愛医大
学泉大 14-13 三重大
岐教大 31-15 常葉大
東海学 36-10 皇学大
学泉大 18-12 愛医大
常葉大 35-19 皇学大
岐教大 29-21 三重大
東海学 24-18 豊高専
学泉大 棄権 皇学大
豊高専 22-20 岐教大
愛医大 25-15 常葉大
東海学 棄権 三重大
愛医大 30-11 皇学大
学泉大 20-18 常葉大
東海学 32-21 岐教大
豊高専 棄権 三重大

【順位】

①東海学園大学
②豊田工業高等専門学校
③愛知学泉大学
④岐阜教育大学
⑤愛知医科大学
⑥常葉学園大学
⑦三重大学
⑧皇學館大学

■女子1部

愛教大 21-19 文理短
中女大 50-7 岐阜大
中京大 19-7 豊短大
愛教大 40-14 岐阜大
中京大 27-8 文理短
中女大 27-14 豊短大
中女大 35-16 文理短
豊短大 29-10 岐阜大
中京大 21-14 愛教大
中女大 31-14 愛教大
文理短 21-18 豊短大
中京大 36-8 岐阜大
文理短 44-11 岐阜大
豊短大 18-13 愛教大
中女大 18-17 中京大

【順位】

①中京女子大学
②中京大学
③豊田短期大学
④愛知教育大学
⑤名古屋文理短期大学
⑥岐阜大学

【最優秀選手】

影山里子（中女大）

【ベストセブン】

GK 西里貴子（中女大）
CP 麻生 薫（中女大）
CP 近藤かおり（中女大）
CP 宮里みゆき（中女大）
CP 曽我部知恵（中京大）
CP 上村あき子（中京大）
CP 山本佳代（豊短大）

【敢闘賞】

永井恵子（愛教大）

【得点王】

野崎泰美（中女大）

■女子2部

岐教大 棄権 南山大
常葉大 20-15 日福大
日福大 棄権 南山大
静岡大 21-17 常葉大
静岡大 棄権 南山大
日福大 20-12 岐教大
静岡大 20-15 日福大
常葉大 15-9 岐教大
静岡大 15-9 岐教大
常葉大 棄権 南山大

【順位】

①静岡大学
②常葉学園大学
③日本福祉大学
④岐阜教育大学
⑤南山大学

●関西学生春季リーグ

■男子1部

桃山学院大 32-26 大阪経済大
桃山学院大 28-26 大阪体育大
桃山学院大 32-21 立命館大
桃山学院大 29-18 京都産業大
桃山学院大 43-28 近畿大
桃山学院大 33-17 天理大
桃山学院大 45-19 関西外語大
大阪経済大 27-22 大阪体育大
大阪経済大 39-22 立命館大
大阪経済大 27-22 京都産業大
大阪経済大 34-21 近畿大
大阪経済大 34-23 天理大
大阪経済大 31-23 関西外語大
大阪体育大 38-17 立命館大
大阪体育大 30-20 京都産業大
大阪体育大 35-18 近畿大
大阪体育大 34-16 天理大
大阪体育大 34-18 関西外語大
立命館大 34-28 京都産業大
立命館大 35-28 近畿大
立命館大 26-25 天理大
立命館大 35-30 関西外語大
京都産業大 30-29 近畿大
京都産業大 27-22 天理大
京都産業大 20-19 関西外語大
近畿大 30-24 天理大
近畿大 32-28 関西外語大
天理大 32-31 関西外語大

【順位】

①桃山学院大学
②大阪経済大学
③大阪体育大学
④立命館大学
⑤京都産業大学
⑥近畿大学
⑦天理大学
⑧関西外国語大学

【ベストセブン】

GK 橋本裕介（大阪経済大）
CP 岡 明正（桃山学院大）
CP 斎藤茂樹（桃山学院大）
CP 近藤満孝（桃山学院大）
CP 土田高史（大阪経済大）
CP 北田 忍（大阪体育大）
CP 下川真良（大阪体育大）

【得点王】

浅浦琢磨（京都産業大）［54点］

■男子2部

神戸国際大 22-20 大阪大
神戸国際大 28-22 関西大
同志社大 28-27 神戸国際大
神戸国際大 35-25 佛教大
神戸国際大 27-19 神戸大
神戸国際大 32-22 龍谷大
大阪大 36-26 関西大
大阪大 33-22 同志社大
大阪大 32-26 佛教大
大阪大 25-23 神戸大
大阪大 27-24 龍谷大
関西大 不明 同志社大
関西大 29-21 佛教大
関西大 25-22 神戸大
関西大 28-16 龍谷大
同志社大 39-29 佛教大
同志社大 33-28 神戸大
同志社大 39-26 龍谷大
佛教大 23-22 神戸大
佛教大 22-20 龍谷大
神戸大 22-22 龍谷大

【順位】

①神戸国際大学
②大阪大学
③関西大学
④同志社大学
⑤佛教大学
⑥神戸大学
⑦龍谷大学

■男子3部

和歌山大 19-14 関西学院大
和歌山大 25-21 甲南大
和歌山大 29-20 京都大
和歌山大 27-20 大阪教育大
和歌山大 26-17 大阪市立大
和歌山大 23-21 大阪学院大
関西学院大 37-23 甲南大
関西学院大 35-22 京都大
関西学院大 25-20 大阪教育大
関西学院大 33-14 大阪市立大
関西学院大 33-27 大阪学院大
甲南大 35-26 京都大
甲南大 24-24 大阪教育大
甲南大 27-25 大阪市立大
甲南大 39-30 大阪学院大
京都大 27-24 大阪教育大
京都大 32-21 大阪市立大
京都大 28-21 大阪学院大

大阪教育大 25－13 大阪市立大
大阪教育大 31－27 大阪学院大
大阪市立大 26－20 大阪学院大

【順位】
①和歌山大学
②関西学院大学
③甲南大学
④京都大学
⑤大阪教育大学
⑥大阪市立大学
⑦大阪学院大学

■男子4部

姫路独協大 35－29 神戸学院大
奈良大 28－24 姫路独協大
姫路独協大 29－27 京府医大
姫路独協大 37－18 大阪府立大
姫路独協大 25－23 大阪工業大
姫路独協大 35－30 京都工芸繊維大
神戸学院大 31－26 奈良大
神戸学院大 29－18 京府医大
神戸学院大 45－26 大阪府立大
神戸学院大 30－23 大阪工業大
神戸学院大 34－18 京工大
奈良大 23－22 京府医大
奈良大 31－25 大阪府立大
奈良大 26－22 大阪工業大
奈良大 棄権 京都工芸繊維大
京府医大 21－18 大阪工業大
京府医大 37－28 京都工芸繊維大
大阪府立大 30－21 大阪工業大
大阪府立大 37－26 京都工芸繊維大
大阪工業大 28－26 京都工芸繊維大

【順位】
①姫路独協大学
②神戸学院大学
③奈良大学
④京都府立医科大学
⑤大阪府立大学
⑥大阪工業大学
⑦京都工芸繊維大学

■男子5部

追手門学大 15－15 奈良教育大
追手門学大 27－17 甲子園大
追手門学大 18－13 大阪産業大
追手門学大 20－17 滋賀大
追手門学大 棄権 大阪外語大
追手門学大 15－14 京都大医学
大阪産業大 24－22 奈良教育大
大阪産業大 29－18 甲子園大
大阪産業大 23－23 滋賀大
大阪産業大 18－17 大阪外語大
大阪産業大 23－17 京都大医学
奈良教育大 28－16 甲子園大
奈良教育大 25－17 滋賀大
奈良教育大 23－16 大阪外語大
奈良教育大 24－17 京都大医学
滋賀大 32－18 甲子園大
滋賀大 25－22 大阪外語大
滋賀大 22－14 京都大医学
大阪外語大 39－17 甲子園大
大阪外語大 28－17 京都大医学
京都大医学 22－13 甲子園大

【順位】
①追手門学院大学
②大阪産業大学
③奈良教育大学
④滋賀大学
⑤大阪外国語大学
⑥京都大学医学部
⑦甲子園大学

■男子6部

Aグループ

大阪経法大 24－19 近畿大農学
大阪経法大 棄権 大阪薬科大
大阪経法大 32－18 京都府立大
京都府立大 25－14 近畿大農学
京都府立大 23－19 大阪薬科大
大阪薬科大 没収 近畿大農学

Bグループ

京都教育大 19－17 神戸商船大
神戸商船大 22－18 大阪電通大
神戸商船大 19－15 大阪歯科大
大阪電通大 26－25 京都教育大
京都教育大 30－24 大阪歯科大
大阪電通大 25－14 大阪歯科大

【順位決定戦】
大阪経法大 25－23 神戸商船大
京都府立大 棄権 京都教育大
大阪電通大 23－14 大阪薬科大
近畿大農学 棄権 大阪歯科大

【順位】
①大阪経済法科大学
②神戸商船大学
③京都府立大学
④京都教育大学
⑤大阪薬科大学
⑥大阪電気通信大学
⑦近畿大学農学部

⑧大阪歯科大学

■女子1部

武庫川大 22－17 大阪体育大
武庫川大 27－19 大阪教育大
武庫川大 34－18 天理大
武庫川大 29－7 関西女短大
武庫川大 42－12 龍谷大
武庫川大 38－7 関西外語大
大阪体育大 26－11 大阪教育大
大阪体育大 28－21 天理大
大阪体育大 34－7 関西女短大
大阪体育大 32－21 龍谷大
大阪体育大 45－8 関西外語大
大阪教育大 25－23 天理大
大阪教育大 31－9 関西女短大
大阪教育大 37－16 龍谷大
大阪教育大 34－18 関西外語大
関西女短大 18－13 天理大
関西女短大 22－21 龍谷大
関西女短大 17－13 関西外語大
天理大 21－21 龍谷大
天理大 19－16 関西外語大
龍谷大 21－18 関西外語大

【順位】
①武庫川大学
②大阪体育大学
③大阪教育大学
④関西女子短期大学
⑤天理大学
⑥龍谷大学
⑦関西外国語大学

【ベストセブン】
GK 田中麻美（大阪体育大）
CP 當山裕子（大阪体育大）
CP 橋本ひとみ（大阪体育大）
CP 三輪田裕美（武庫川大）
CP 大石真代（武庫川大）
CP 重久貴美（武庫川大）
CP 西田由美子（大阪教育大）

【最優秀選手賞】
三輪田裕美（武庫川大）

【得点王】
酒井久美子（大阪教育大）［40点］

■女子2部

立命館大 18－14 大成蹊女短
立命館大 31－25 京都教育大
立命館大 27－19 関西大
立命館大 25－11 佛教大
立命館大 37－10 園田学女大
立命館大 24－11 関西学院大
大成蹊女短 20－9 京都教育大
大成蹊女短 16－7 関西大
大成蹊女短 17－9 佛教大
大成蹊女短 19－8 園田学女大
大成蹊女短 19－14 関西学院大
京都教育大 22－22 関西大
京都教育大 39－20 佛教大
京都教育大 28－17 園田学女大
京都教育大 21－14 関西学院大
関西大 20－13 佛教大
関西大 19－13 園田学女大
関西大 12－12 関西学院大
関西学院大 不明 園田学女大
関西学院大 17－12 佛教大
佛教大 16－13 園田学女大

【順位】
①立命館大学
②大阪成蹊女子短期大学
③京都教育大学
④関西大学
⑤関西学院大学
⑥佛教大学
⑦園田学園女子大学

■女子3部

大阪大 23－10 奈良女子大
大阪大 18－14 和歌山大
大阪大 25－14 大阪市立大
大阪大 20－7 滋賀大
大阪大 20－12 追手門学大
大阪大 棄権 大阪薬科大
和歌山大 13－12 奈良女子大
奈良女子大 17－6 大阪市立大
奈良女子大 9－8 滋賀大
奈良女子大 10－8 追手門学大
奈良女子大 棄権 大阪薬科大
追手門学大 7－6 和歌山大
追手門学大 14－10 大阪市立大
追手門学大 11－9 滋賀大
追手門学大 29－11 大阪薬科大
滋賀大 14－7 和歌山大
滋賀大 18－7 大阪市立大
滋賀大 22－16 大阪薬科大
和歌山大 13－9 大阪市立大
和歌山大 17－10 大阪薬科大
大阪薬科大 17－16 大阪市立大

【順位】
①大阪大学
②奈良[illegible]大学
③追手門学院大学
④滋賀大学
⑤和歌山大学
⑥大阪薬科大学
⑦大阪市立大学

■女子4部

大阪外語大 10－9 大阪府立大
大阪外語大 8－7 神戸大
大阪外語大 13－12 兵庫教育大
甲南大 12－9 大阪外語大
大阪外語大 14－6 奈良教育大
大阪府立大 16－13 神戸大
大阪府立大 11－5 兵庫教育大
大阪府立大 14－14 甲南大
大阪府立大 11－4 奈良教育大
神戸大 15－6 兵庫教育大
神戸大 16－10 甲南大
神戸大 18－9 奈良教育大
兵庫教育大 6－12 甲南大
甲南大 棄権 奈良教育大
奈良教育大 6－4 兵庫教育大

【順位】
①大阪外国語大学
②大阪府立大学
③神戸大学
④甲南大学
⑤兵庫教育大学
⑥奈良教育大学

●中四国学生春季リーグ

■男子1部

広島大 16－15 広島経済大
広島大 24－15 松山大
広島大 27－13 愛媛大
広島大 27－14 岡山大
広島大 27－12 高知大
広島経済大 24－18 松山大
広島経済大 29－10 愛媛大
広島経済大 24－15 岡山大
広島経済大 32－14 高知大
松山大 20－17 愛媛大
岡山大 19－14 松山大
松山大 20－18 高知大
愛媛大 26－11 岡山大
愛媛大 27－16 高知大
高知大 24－20 岡山大

【順位】
①広島大学
②広島経済大学

③松山大学
④愛媛大学
⑤岡山大学
⑥高知大学

［ベストセブン］

GK 松本勝哉（広島大）
CP 池浦慎治（広島大）
CP 扇山貴司（広島大）
CP 橘憲一郎（広島大）
CP 渡部晃弘（広島経済大）
CP 渡辺貴之（広島経済大）
CP 濱川義浩（広島経済大）

［得点王］

渡部晃弘（広島経済大）［36点］

■男子2部

近畿大 20－14 山口大
近畿大 20－20 川崎医福大
近畿大 27－14 香川大
近畿大 32－9 徳島大
近畿大 27－14 徳島文理大
山口大 22－10 川崎医福大
山口大 14－12 香川大
山口大 27－20 徳島大
山口大 23－18 徳島文理大
川崎医福大 19－19 香川大
川崎医福大 23－20 徳島大
川崎医福大 19－19 徳島文理大
香川大 19－16 徳島大
香川大 14－12 徳島文理大
徳島大 24－23 徳島文理大

［順位］

①近畿大学
②山口大学
③川崎医療福祉大学
④香川大学
⑤徳島大学
⑥徳島文理大学

■男子3部

［X］

広島工業大 24－6 四国大
広島工業大 34－13 広島修道大
広島工業大 34－15 四国学院大
広島修道大 18－16 四国大
四国大 27－18 四国学院大
四国学院大 24－22 広島修道大

［Y］

島根大 18－12 鳥取大
島根大 22－12 岡山商科大
鳥取大 16－14 岡山商科大

※徳山大は棄権

［順位決定戦］

島根大 14－13 広島工業大
鳥取大 14－12 四国大
岡山商科大 28－13 広島修道大

［順位］

①島根大学
②広島工業大学
③鳥取大学
④四国大学
⑤岡山商科大学
⑥広島修道大学
⑦四国学院大学

■女子1部

岡山県立大 22－12 広島大
岡山県立大 19－12 川崎医福大
岡山県立大 31－6 愛媛大
岡山県立大 32－9 岡山大
広島大 24－11 川崎医福大
広島大 31－7 愛媛大
広島大 29－4 岡山大
川崎医福大 21－5 愛媛大
川崎医福大 12－7 岡山大
愛媛大 15－11 岡山大

［順位］

①岡山県立大学
②広島大学
③川崎医療福祉大学
④愛媛大学
⑤岡山大学

［ベストセブン］

GK 宮内悠紀（岡山県立大）
CP 櫃本明子（岡山県立大）
CP 小林美紀（岡山県立大）
CP 杉原由理（岡山県立大）
CP 藤瀬麻衣（広島大）
CP 岡部美和（広島大）
CP 尾熊訓子（川崎医療福祉大）

［得点王］

永安優子（広島大）［28点］

■女子2部

香川大 11－8 鳴門教育大
香川大 11－9 鳴門教育大

※高知大学、四国大学、山陽学園短期大学は棄権

［順位］

①香川大学
②鳴門教育大学

●九州学生春季リーグ

■男子1部

福岡大 34－11 沖国大
福岡大 28－16 福教大
福岡大 34－16 西南大
福岡大 36－13 九州大
東和大 17－14 福岡大
東和大 21－21 沖国大
東和大 26－20 福教大
東和大 20－15 西南大
東和大 28－15 九州大
沖国大 28－21 西南大
福教大 29－22 沖国大
福教大 32－17 西南大
福教大 23－22 九州大
九州大 20－19 沖国大
九州大 22－16 西南大

［順位］

①東和大学
②福岡大学
③福岡教育大学
④九州大学
⑤沖縄国際大学
⑥西南学院大学

［ベストセブン］

GK 青木淑夫（東和大）
CP 深谷健也（東和大）
CP 松本真博（東和大）
CP 佐々木栄吾（福岡大）
CP 宇多村亮（福岡大）
CP 多久和男（福岡大）
CP 酒井康隆（福岡教育大）

［最優秀選手賞］

深谷健也（東和大）

［得点王］

矢住征規（福岡教育大）［37点］

■男子2部

九産大 19－17 琉球大
九産大 18－17 大分大
九産大 21－18 熊学大
九産大 27－20 一経大
琉球大 24－15 鹿児島大
琉球大 22－20 大分大
琉球大 20－16 熊学大
琉球大 28－14 一経大
鹿児島大 21－19 九産大
鹿児島大 29－21 大分大
鹿児島大 31－25 熊学大
鹿児島大 37－28 一経大
大分大 29－21 熊学大
大分大 28－22 一経大
熊学大 24－14 一経大

［順位］

①琉球大学
②鹿児島大学
③九州産業大学
④大分大学
⑤熊本学園大学
⑥第一経済大学

■男子3部

熊本大 31－16 宮崎大
熊本大 29－20 長崎大
熊本大 40－10 熊工大
熊本大 20－17 熊県大
鹿経大 24－20 熊本大
鹿経大 32－24 宮崎大
鹿経大 36－23 長崎大
鹿経大 43－20 熊工大
鹿経大 32－21 熊県大
宮崎大 31－29 長崎大
宮崎大 28－22 熊工大
長崎大 30－24 熊工大
熊県大 21－19 宮崎大
熊県大 33－25 長崎大
熊県大 32－19 熊工大

［順位］

①鹿児島経済大学
②熊本大学
③熊本県立大学
④宮崎大学
⑤長崎大学
⑥熊本工業大学

■男子4部

Aパート

久工大 25－23 福工大
産医大 33－25 久工大
産医大 27－18 福工大
産医大 35－19 九共大
産医大 19－18 鹿大医
九共大 31－27 久工大
九共大 30－20 福工大
鹿大医 35－23 久工大
鹿大医 32－24 福工大
鹿大医 27－23 九共大

［順位］

①産業医科大学
②鹿児島大学医学部
③九州共立大学
④久留米工業大学
⑤福岡工業大学

Bパート

日文大 25－24 名桜大
日文大 28－12 西工大
日文大 19－18 一工大
名桜大 41－23 西工大
名桜大 20－15 一工大
一工大 23－18 西工大

［順位］

①日本文理大学
②名桜大学
③第一工業大学
④西日本工業大学

■女子

福岡大 29－20 福教大
福岡大 41－8 九女大
福岡大 36－12 琉球大
福岡大 54－14 沖国大
福岡大 53－0 東海大
福教大 42－18 九女大
福教大 30－7 琉球大
福教大 48－16 沖国大
福教大 43－5 東海大
九女大 15－10 琉球大
九女大 37－17 沖国大
九女大 36－10 東海大
琉球大 22－16 沖国大
琉球大 41－8 東海大
沖国大 42－11 東海大

［順位］

①福岡大学
②福岡教育大学
③九州女子大学
④琉球大学
⑤沖縄国際大学
⑥九州東海大学

［ベストセブン］

GK 前村扶美（福岡大）
CP 広瀬輝美（福岡大）
CP 比嘉晴美（福岡大）
CP 野 亜矢子（福岡大）
CP 八尋涼子（福岡大）
CP 川上真弓（福岡教育大）
CP 窪 美祐希（福岡教育大）

［最優秀選手賞］

広瀬輝美（福岡大）

［得点王］

窪 美祐希（福岡教育大）［38点］

第2回ジャパンオープントーナメント

組合せ表

男子の部

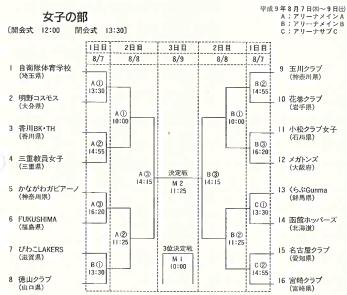
〔開会式　9:30　　閉会式　13:00〕

平成９年８月７日(木)～10日(日)
文；横浜文化体育館
平；平沼記念体育館
大；横浜市大体育館

女子の部

〔開会式　12:00　閉会式　13:30〕

平成９年８月７日(木)～９日(土)
A；アリーナメインA
B；アリーナメインB
C；アリーナサブC

８月の行事予定

■８月２～７日　第48回全国高校選手権大会
京都府・田辺市中央体育館／八幡市民体育館　他

■８月６～９日　第40回全日本教職員選手権大会
名古屋市・愛知県体育館

■８月６～７日　第24回全国高等専門学校選手権大会
石川県・金沢市総合体育館

■８月８～12日　東日本学生選手権大会
秋田県・湯沢市体育館／羽後町体育館

■８月13～17日　西日本学生選手権大会
福岡県・福岡市民体育館／アクシオン福岡　他

■８月７～10日　第２回ジャパンオープントーナメント(男子)
神奈川県・横浜文化体育館／平沼記念体育館

■８月７～９日　第２回ジャパンオープントーナメント(女子)
神奈川県・川崎とどろきアリーナ

■８月22～25日　第26回全国中学校大会
高知県・春野運動公園

■８月25～30日　第５回日韓中ジュニア交流大会
韓国・清洲市

■８月29～31日　97ジャパンカップ
東京都・駒沢体育館／神奈川県・横浜文化体育館／千葉県・船橋アリーナ

CONTENTS　8月号

MIKASA®

明星ゴム工業株式会社

HAND BALLS

国際公認球

アデランテ 前進

ホワイト／ブラック

ホワイト／ピンク

PKCH3-AD　¥4,600

検定球3号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-AD　¥4,500

検定球2号，国際公認球，アデランテ，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

ホワイト／ブラック

ホワイト／ブルー

ホワイト／ブラック

ホワイト／ピンク

PKCH3-BS　¥4,000

検定球3号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・男子用，人工皮革，
パキスタン製

PKCH2-BS　¥3,800

検定球2号，ビッグシュート，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
人工皮革，パキスタン製

NEW

NEW

PKCH3-SRT　¥5,600

検定球3号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・男子用，天然皮革
パキスタン製

PKCH2-SRT　¥5,500

検定球2号，スエルテ，48枚パネル，手縫い
一般・大学・高校・女子用，中学校用，
天然皮革，パキスタン製

PKCH3-ADR　¥2,800

練習球3号，アデランテ，　手縫い
一般・大学・高校・男子用，合成ゴム
パキスタン製

MIKASA®
明星ゴム工業株式会社

本　　社　／〒733　広島市西区楠木町3丁目11-2　TEL082（237）5145
東京営業所　／〒111　東京都台東区松が谷1丁目5-14　TEL03（3843）4671
大阪営業所　／〒543　大阪市天王寺区東高津町1-6　TEL06（761）8441
大阪物流センター／〒577　東大阪市西堤本通東3-4　TEL06（781）4845
広島営業所　／〒733　広島市西区楠木町3丁目11-2　TEL082（237）4772
名古屋営業所　／〒460　名古屋市中区千代田2丁目24-8　TEL052（251）2381
福岡営業所　／〒812　福岡市博多区東比恵4丁目12-9　TEL092（431）6950
仙台営業所　／〒984　仙台市若林区卸町東4丁目1-8　TEL022（288）2361

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』第三七七号
昭和[illegible]年六月七日 第三種郵便物認可
平成九年七月二十六日 印刷
平成九年八月一日 発行
東京都渋谷区神南一―一―一
電話 代表 三四八一―二三六一
振替 〇〇一二〇―七―一〇二九三
編集兼発行人 中澤重夫
価格は登録金に含む